

**南丹市高齢者福祉計画・
第9期介護保険事業計画策定に係る
アンケート調査結果報告書
(速報値)**

令和5年3月

南丹市

目 次

第1章 調査の目的と実施概要	1
1. 調査の目的	1
2. 実施概要	1
3. 調査結果の見方	1
第2章 調査結果概要	2
1. あなた自身や家族について	2
2. 外出・食ること・毎日の生活について	2
3. 地域活動や助けあい	3
4. 健康について	3
5. 介護保険制度や高齢者への支援・南丹市の施策について	4
6. 生活機能評価	4
7. 在宅介護実態調査	5
第3章 調査結果	6
I－I 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果	6
1. あなた自身や家族について	6
2. 身体の状況や身体を動かすことについて	12
3. 外出について	12
4. 食ることについて	14
5. 毎日の生活について	16
6. 地域活動やたすけあいについて	17
7. あなたとまわりの人の「たすけあい」について	21
8. 健康について	25
9. 介護保険制度や高齢者への支援について	28
10. 南丹市の高齢者施策について	33
I－II 生活機能評価	34
1. 生活機能評価手法の概要	34
(1) 生活機能	34
(2) 老研式活動能力指標	35
2. 評価結果	37
I－III 在宅介護実態調査結果	41
1. ご本人（封筒のあて名の方）の状況について	45
2. 介護サービスの利用状況等について	48
3. 地域における日常の暮らしについて	53
4. ご家族やご親族による介護の状況について	56

第1章 調査の目的と実施概要

1. 調査の目的

本調査は、令和6年度～8年度までを計画期間とする「第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、市内の高齢者等の生活実態や健康状態等を把握し、これを計画策定の基礎資料とするために実施したものです。

2. 実施概要

(1) 調査方法

調査は、郵送による配布、回収により実施しました。

(2) 調査の対象者と配布数

調査の対象者と配布数について、整理すると次のとおりです。

調査名	対象者	配布数	回収数		回収率
			白票	有効票	
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	65歳以上の 要介護認定者以外	3,000	0	1,829	60.1%
在宅介護実態調査	要介護1～5の方	900	0	375	41.6%

(3) 抽出基準日

令和4年12月1日

(4) 調査期間

令和4年12月9日～27日

3. 調査結果の見方

◇タイトル右には、設問に応じ、SA（単数回答）、MA（複数回答）を示しています。

◇各設問のカテゴリー（選択肢）等について、表現を短縮・簡略化している場合があります。

◇各設問番号は、実際のアンケート調査の番号を用いており、生活機能評価（p34～）の対象設問等のため、設問順になっていない場合があります。

◇集計結果のグラフのnの値は、当該設問の回答者数を示しています。

◇集計結果のグラフ・表における“無回答”には、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、SAの設問における複数回答等）の件数（票数）が含まれます。

◇集計結果のグラフ・表における比率（%）は、小数点第2位を四捨五入して算出・表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

第2章 調査結果概要

1. あなた自身や家族について(6～11ページ)

単身者は増加傾向にあり、健康維持や生きがいのために「いつまでも元気に働きたい」高齢者が多く、住環境への満足度は5割以上が『満足』している。

- 家族構成では、前回と比較して「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が減少し、「1人暮らし」の割合が10ポイント程度高くなっています。【問1-4】
- 住環境の総合評価としては、「満足している」及び「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』が55.4%と『不満』の28.0%を2倍近く上回っています。個別の項目では、「どちらかといえば満足していない」及び「満足していない」を合わせた『不満』は“⑥公共交通機関の利用しやすさ”が53.4%、次いで“⑦生活の利便性”46.3%、“④自然災害”41.2%の順となっています。【問1-9】
- 収入のある仕事をしている高齢者の割合は、33.1%となっています。仕事を続けたい年齢をみると、前回とほぼ同様の割合となっており、「働けるうちはいつまでも」が4割以上となっています。【問1-10・問1-10(1)】
- 仕事を続けたい理由は、「生活費が稼ぎたいから」が32.1%と最も高くなっています。次いで、「健康な状態を維持したいから」「働くことに生きがいを感じるから」の順となっています。【問1-10(2)】

2. 外出・食べること・毎日の生活について(12～16ページ)

コロナ禍で自主的に外出を控えている方は5割、毎日誰かと食事をする機会は減少している。

- 昨年と比較した外出回数は、前回と比較して「とても減っている」及び「減っている」を合わせた『減っている』が10ポイント以上高くなっています。【問3-2】
- 外出回数が減った理由は、全体的には前回より増加している項目はなく、今回追加した「コロナへの感染予防で控えている」が5割以上となっています。【問3-3】
- 誰かと食事をとる機会、前回と比較すると「毎日ある」が7ポイント程度低くなっています。【問4-8】
- 趣味や生きがいがある方は、前回と比較してわずかに2ポイント低くなっています。【問5-15・問5-16】

3. 地域活動や助けあい(17~24ページ)

普段のコミュニケーションには、配偶者が大きな役割を担い、地域の方とのコミュニケーションを図ることは、地域活動への参加を促し介護予防への効果が期待できる。

- 会・グループ等の参加頻度について、「週1回以上」参加している割合が最も高いのは、“②スポーツ関係のグループやクラブ”で11.7%となっています。「参加していない」割合が最も低いのは“⑦町内会・自治会”の37.5%、“⑧収入のある仕事”は3割程度が参加しています。【問6-1】
- 地域活動に参加しやすいきっかけは、「実際に活動している団体・個人等からの誘い」が31.9%と他の項目よりも20ポイント程度高くなっています。【問6-2(1)】
- 近所や地域にしてほしいこと・手助け協力できることは、ともに「安否確認や声かけ」が最も高く、それぞれ40.7%、56.3%となっています。【問6-4・問6-5】
- 心配ごとや愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人は、ともに「配偶者」が最も高く、次いで、「友人」「別居の子ども」の順となっています。【問7-1・問7-2】
- 看病や世話してくれる人・あげる人は、ともに「配偶者」が最も高くなっています。看病や世話をしあげる人で、「そのような人がいない」が前回と比較して、6ポイント以上高くなっています。【問7-3・問7-4】

4. 健康について(25~27ページ)

治療中、後遺症のある病気を抱えている方は増加傾向で、幸福度は前回よりも低くなっている。

- 幸福度は、前は5点・8点が高かったが、今回は4点・7点が高く、全体的に幸福度は低くなっています。また前回10点は13.6%でしたが、今回は0.0%となっています。【問8-2】
- お酒を飲むかについては、前回と比較して「ほぼ毎日飲む」が4ポイント高くなっています。【問8-5】
- 治療中、後遺症のある病気では、前回と比較して高くなっているのは、17項目中8項目となっています。特に心臓病が4ポイント以上高くなっています。

5. 介護保険制度や高齢者への支援・南丹市の施策について(28～33ページ)

高齢者の3割は福祉サービスが『充実している』と感じている。体調の急変への不安が、自宅で最期まで療養が難しい理由として最も高くなっている。

- 人生最期を迎えたい場所は、「自宅」「病院」「施設」どれも低くなり、「どこでもよい」が前回と比較して15ポイント程度高くなっています。【問9-8】
- 自宅で最期まで療養は可能かについては、「難しいと思う」が50.2%となっており、その理由では、「体調が急変した時に不安であるから」が58.3%で最も高くなっています。【問9-8(1)・問9-8(2)】
- 南丹市の在宅福祉サービスは充実しているかについては、「充実している」及び「どちらかといえば充実している」を合わせた『充実している』は34.0%となっています。【10-1】

6. 生活機能評価(34～40ページ)

全体では「認知機能低下」の割合が高く約5割。85歳以上になると、「運動機能低下」「閉じこもり傾向」のリスクが20ポイント以上も増加する。

- 生活機能の評価項目ごとの該当者(リスク者)の割合は、全体では「認知機能低下」が49.1%と特に高くなっています。
- 性別にみるとすべての項目で、“男性”と比較して“女性”の該当者の割合が高くなっており、特に「運動器機能低下」「閉じこもり傾向」については差が10ポイント以上となっています。
- 年齢区分別にみると「うつ傾向」以外で、“85歳以上”の該当者の割合が高くなっており、特に「運動器機能低下」「転倒リスク」「閉じこもり傾向」「口腔機能低下」については、他の年齢区分より差が10～20ポイント以上高くとなっています。一方で、「低栄養」「認知機能低下」は全ての年齢区分でほとんど差がみられません。
- 居住地区別にみると、“美山町”で「閉じこもり」「認知機能低下」の該当者の割合が高くなっており、“日吉町”では「うつ傾向」が、“園部”では「口腔機能低下」が他と比較して高くなっています。

①手段的自立度(IADL)(買物・電話・外出等、高い自立した日常生活をおくる能力)

- 居住地区別で『低い』の割合をみると、“八木町”の20.1%が最も高く、次いで“園部”で19.4%、“美山町”の17.9%、“日吉町”の17.7%の順となっています。

②知的能動性(創作や余暇を楽しむ能力)

- 居住地区別では、“日吉町”で「低い」の割合が44.8%と特に高くなっています。

③社会的役割(社会から求められる行動ふるまい)

- 居住地区別では、“園部”で「低い」の割合が61.5%と特に高くなっています。

7. 在宅介護実態調査(41～61ページ)

在宅生活を続けるためには、引き続きのサービスの充実、ケアプランの満足度の向上が求められ、家族等の介護者には勤め先からの支援の充実を図ることが必要と考えられる。

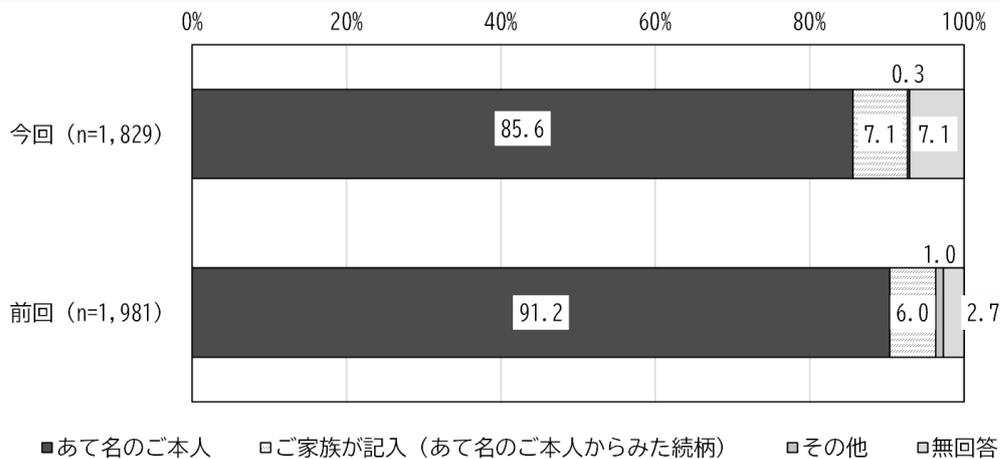
- 経済的な暮らし状況は、前回と比較すると「大変苦しい」「やや苦しい」が2ポイント程度高くなっています。【問1-4】
- 施設等への入所・入居の検討状況は、前回と比較して「入所・入居を検討している」が、6ポイント以上高くなっており、その理由では「家族が精神的・肉体的に疲れているため」が50.0%と最も高くなっています。【問1-5・問1-5(1)】
- ケアプランの満足度は、「満足」が5ポイント低くなっています。【問2-3】
- 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービスは「移送サービス」「外出同行」割合が高くなっています。【問2-5】
- 家族や親族の方からの介護頻度は、前回と比較して「ない」が7ポイント高くなり、23.5%となっています。【問2-7】
- 新型コロナウイルス感染症の流行による介護保険サービス利用への影響については、「サービスが利用できないなど影響があった」が37.1%となっています。一方で今後のサービス利用への影響は、「特に影響がない」が40.5%と最も高くなっています。【問2-8・問2-9】
- 「成年後見制度」の認知度は、前回と比較して「知っている」が6ポイント程度低くなっています。【問3-3】
- これから生活を送る場所は、前回と比較して「一人暮らしになっても、現在住んでいる自宅や地域で過ごしたい」が、5ポイント程度高くなっています。【問3-5】
- 主な介護者の現在の勤務形態は、「フルタイム」が3ポイント程度、「パートタイム」が7ポイント程度高くなっています。【問4-6】
- 介護者の働き方の調整等は、「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が34.7%で最も高くなっています。【問4-6(1)】
- 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援は、「制度を利用しやすい環境づくり」「介護をしている従業員への経済的支援」が24.8%でもっとも高くなっています。【問4-6(2)】

第3章 調査結果

1-1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

調査票の記入者

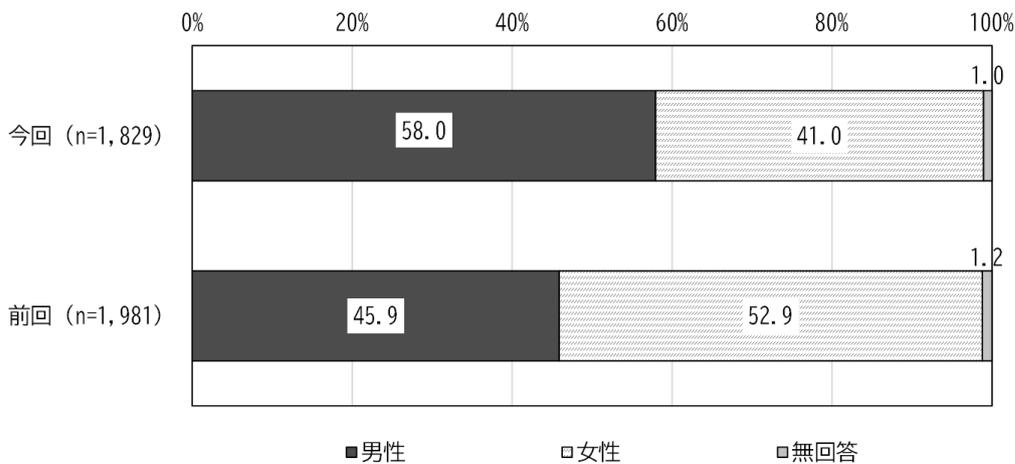
【SA】



1. あなた自身や家族について

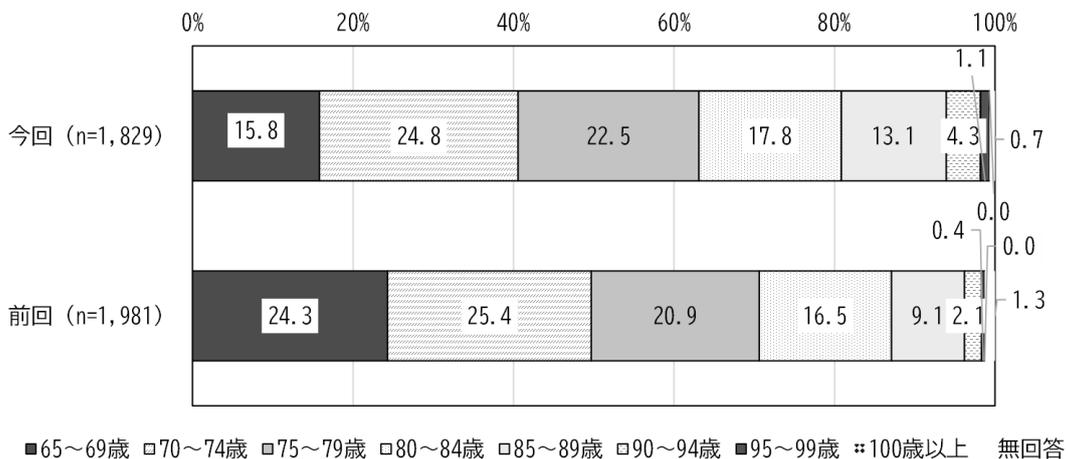
問1-1 性別

【SA】



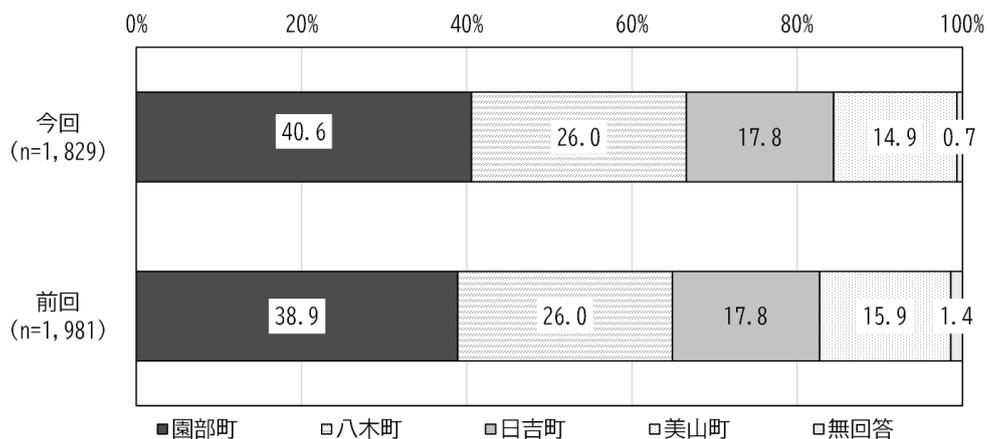
問1-2 年齢

【SA】



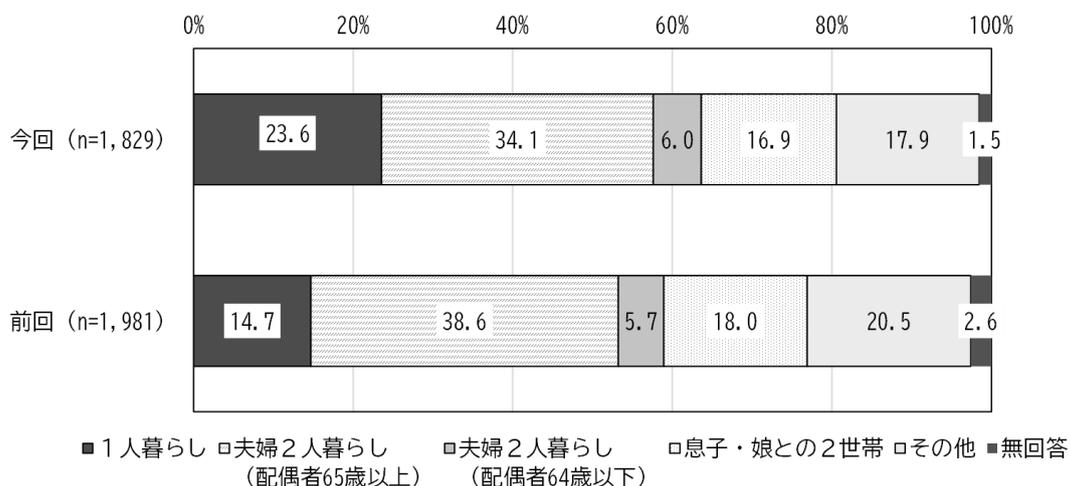
問1-3 居住地区

【SA】



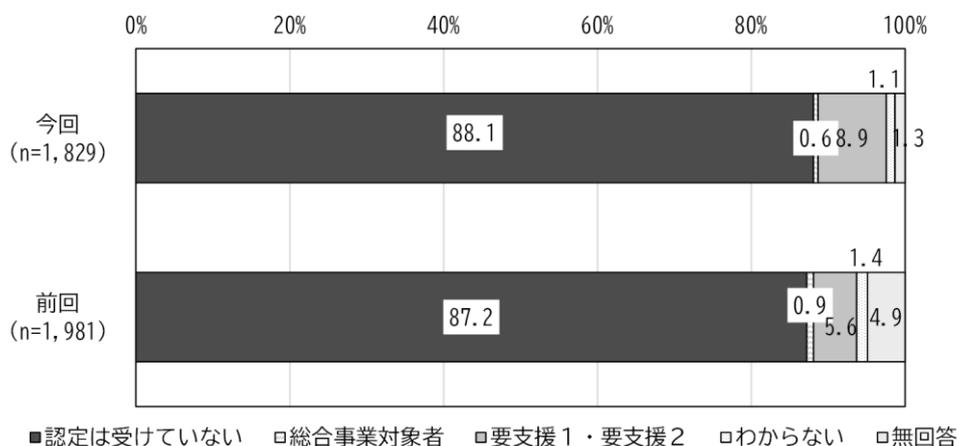
問1-4 家族構成

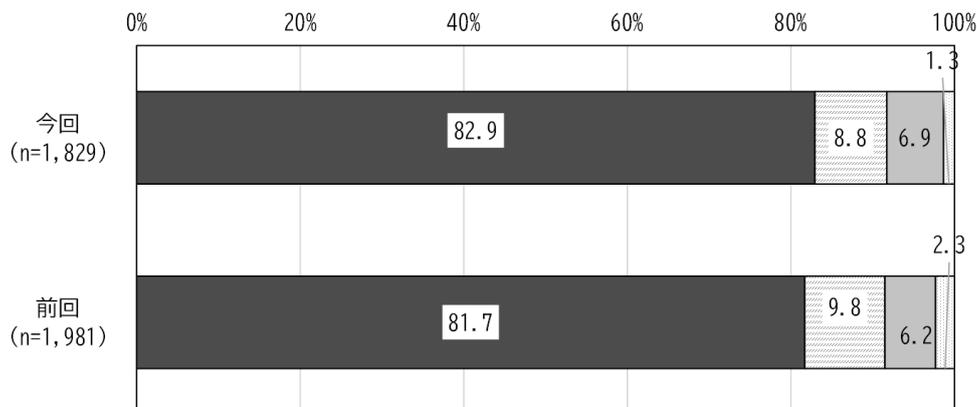
【SA】



問1-5 要介護度

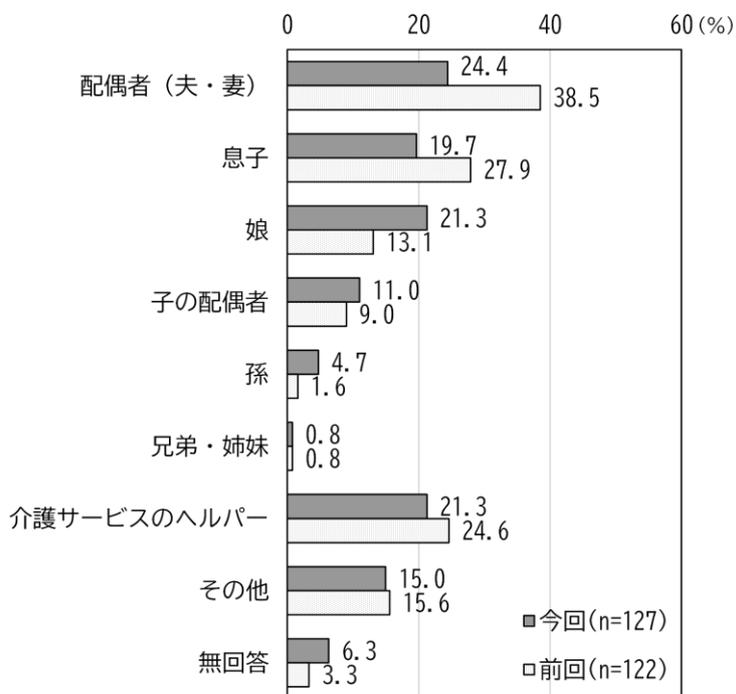
【SA】





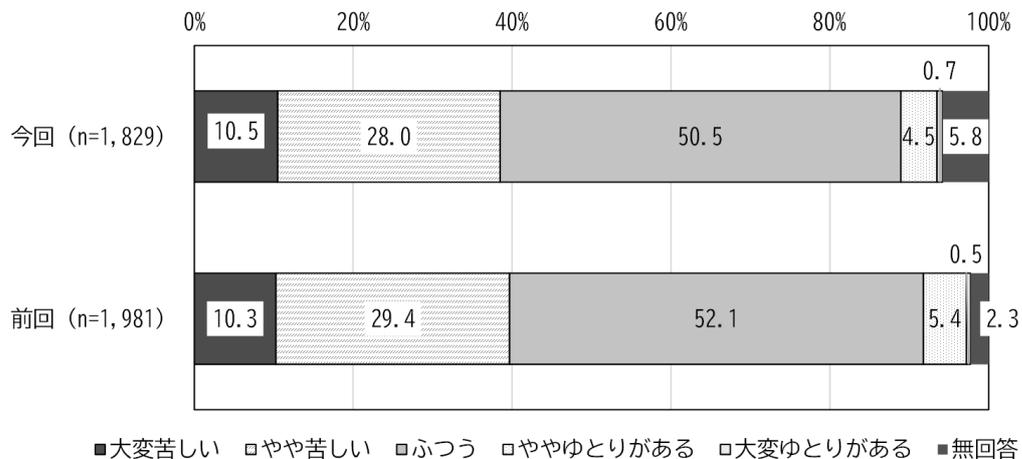
- 介護・介助は必要ない
- ▨ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）
- 無回答

問1-6で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した人のみ



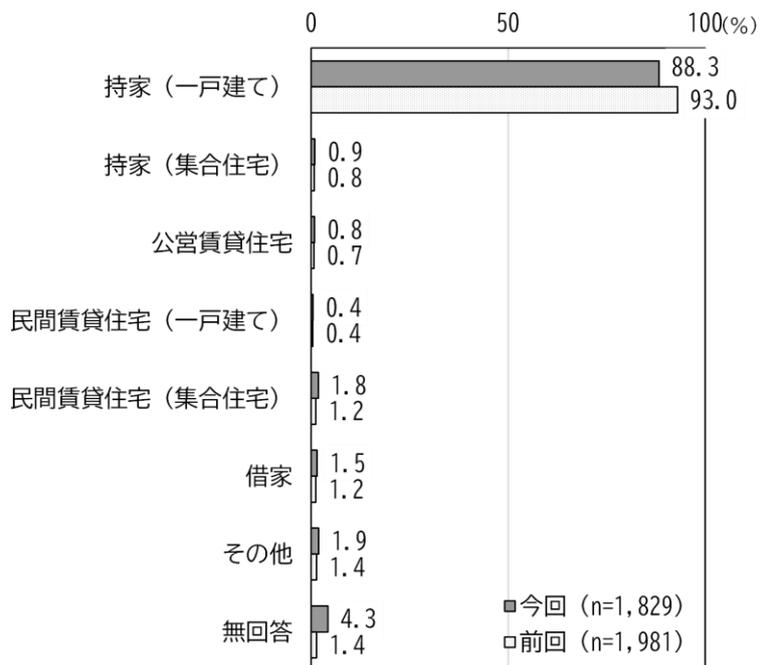
問1-7 経済的な暮らしの状況

【SA】



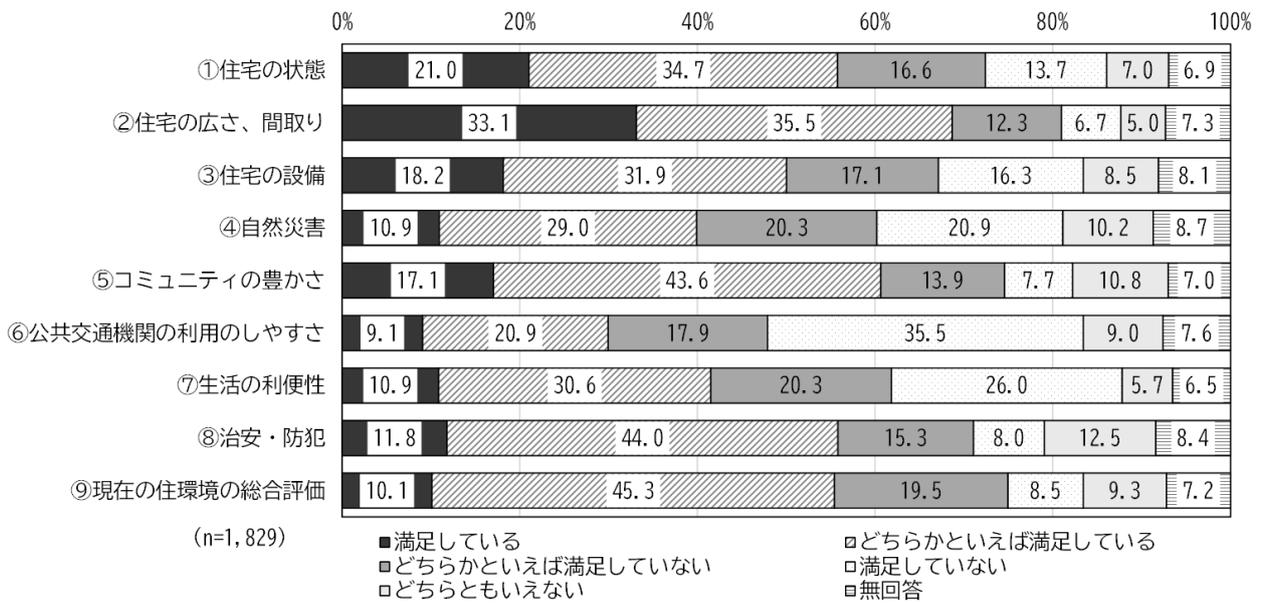
問1-8 住まいの形態

【SA】



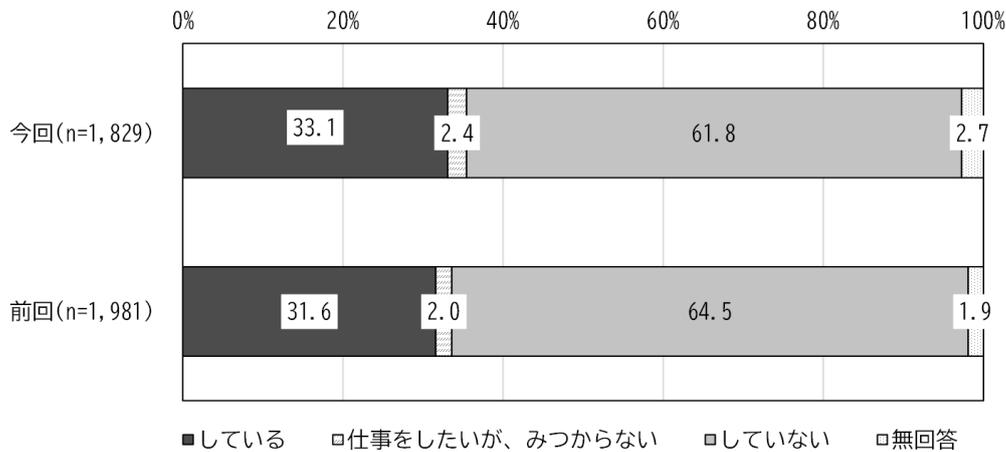
問1-9 住環境の満足度

【SA】



問1-10 収入のある仕事

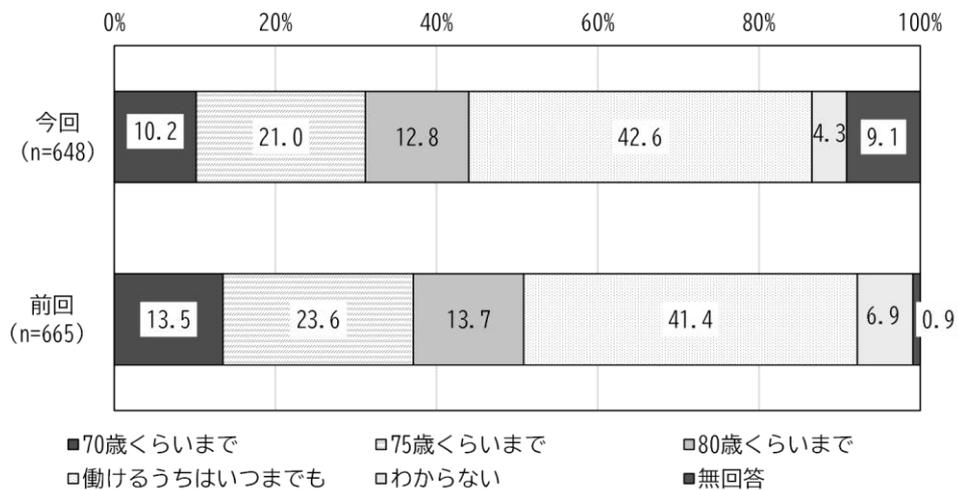
【SA】



問1-10(1) 仕事を続けたい年齢

【SA】

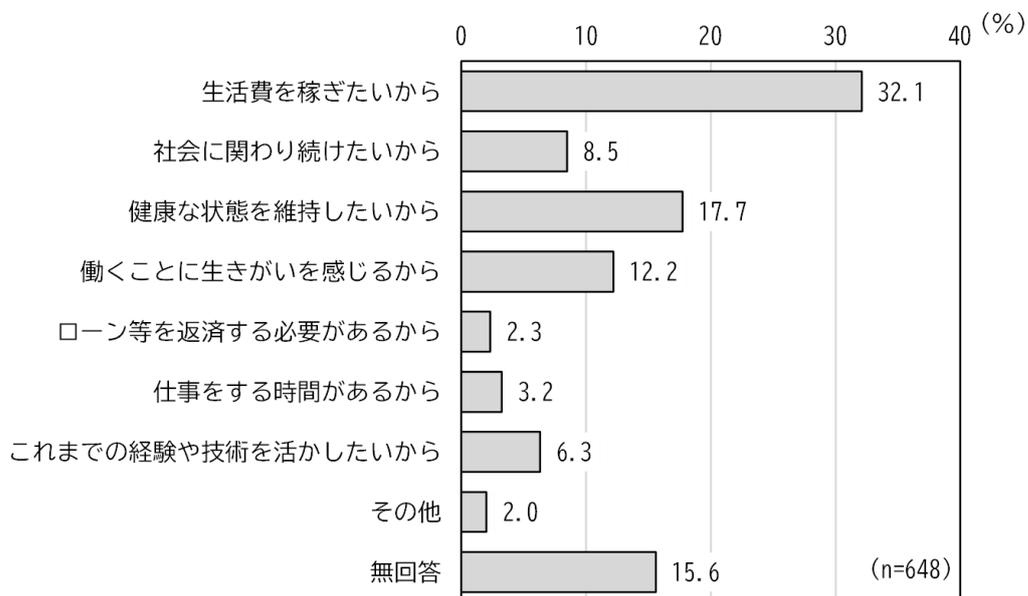
問1-10で「1. している」「2. 仕事をしたいが、みつからない」と回答した人のみ



問1-10(2) 仕事を続けたい(したい)理由

【SA】

問1-10で「1. している」「2. 仕事をしたいが、みつからない」と回答した人のみ



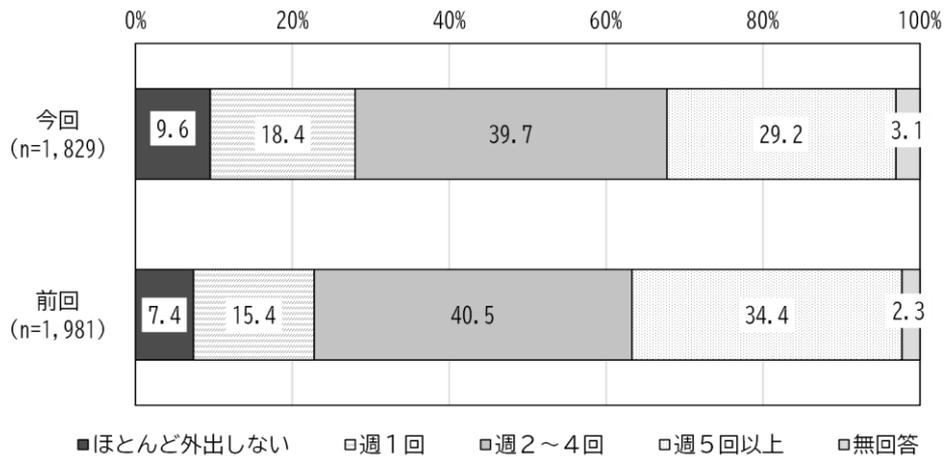
2. 身体の状況や身体を動かすことについて

○生活機能評価のための設問ですので、37～40 ページに評価のグラフを掲載。

3. 外出について

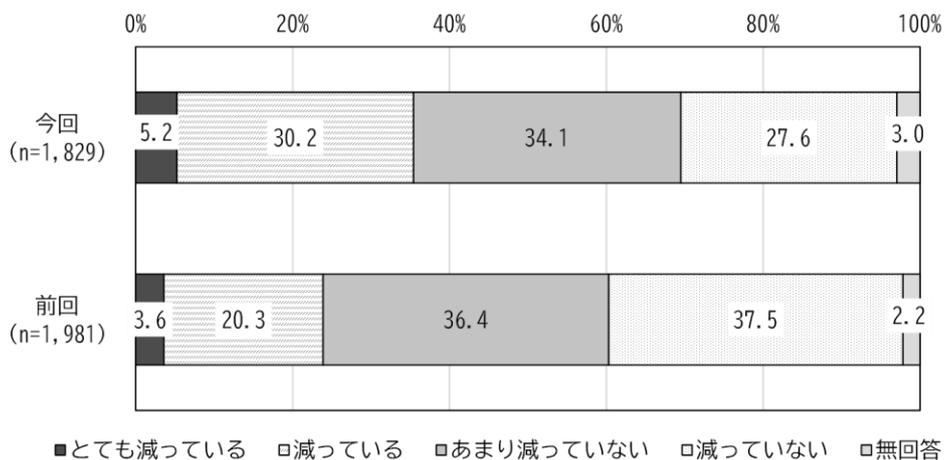
問3-1 外出頻度

【SA】

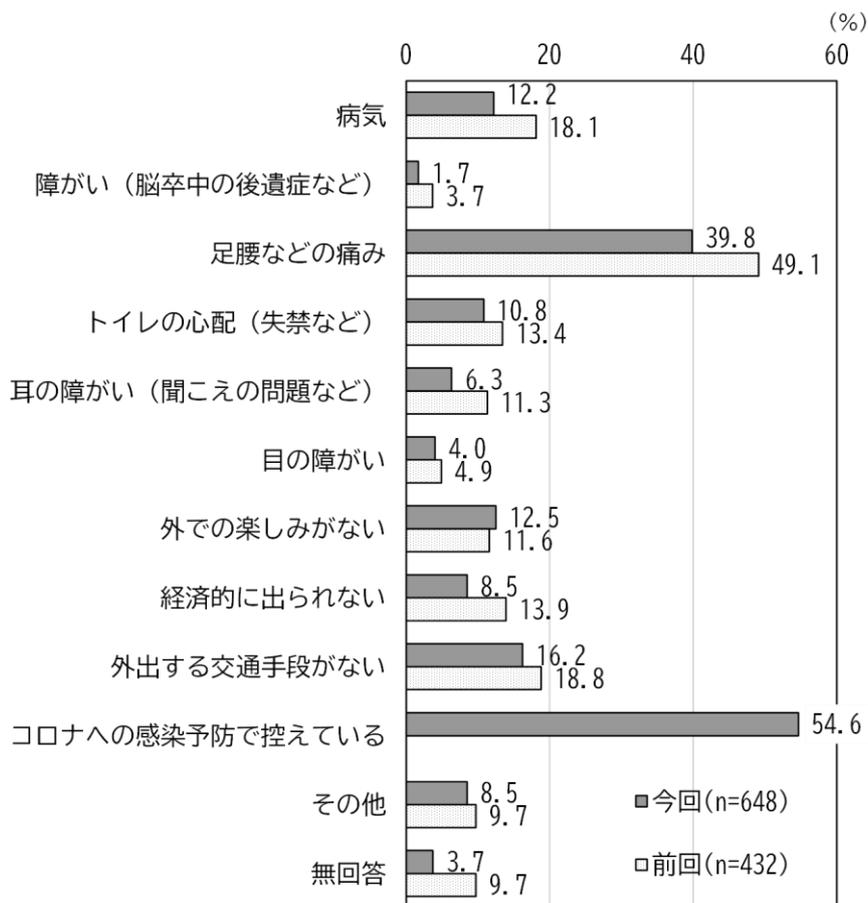


問3-2 昨年と比較した外出回数

【SA】



問3-2で「1. とても減っている」「2. 減っている」と回答した人のみ

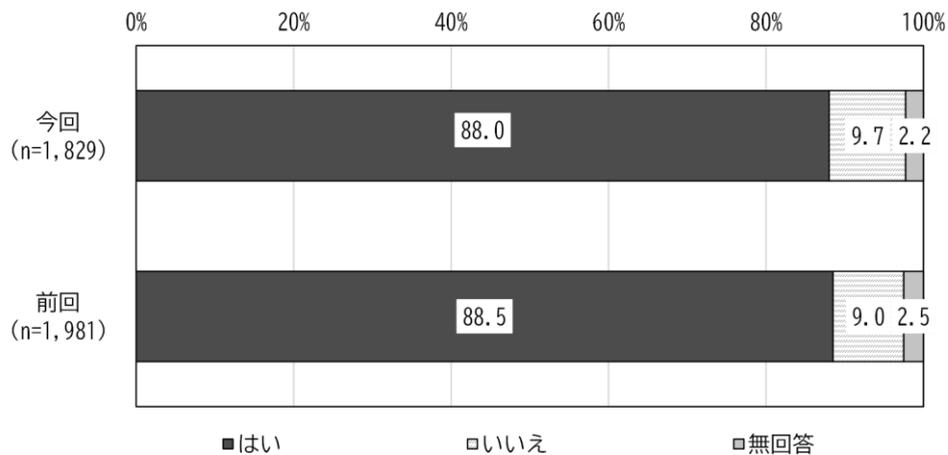


4. 食べることについて

○問4-1から問4-4は生活機能評価のための設問ですので、37~40ページに評価のグラフを掲載。

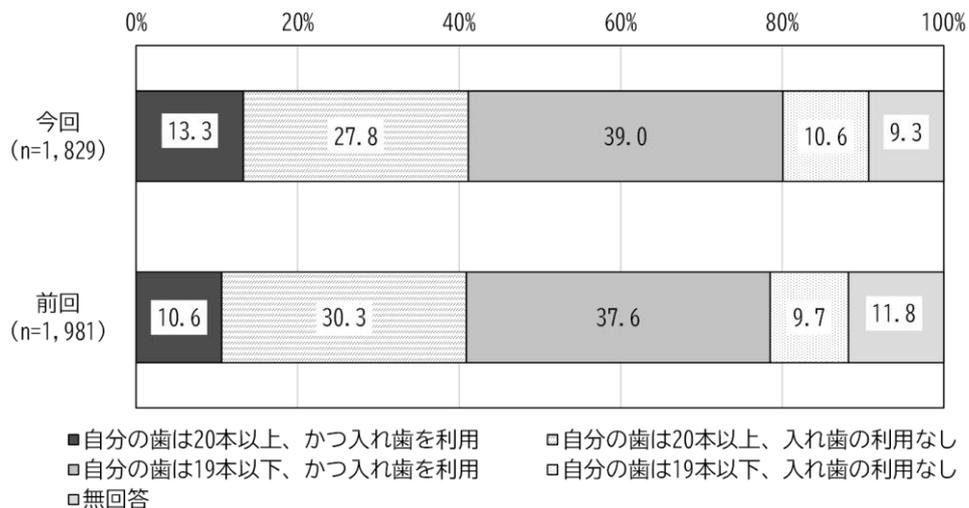
問4-5 毎日歯磨きしているか

【SA】



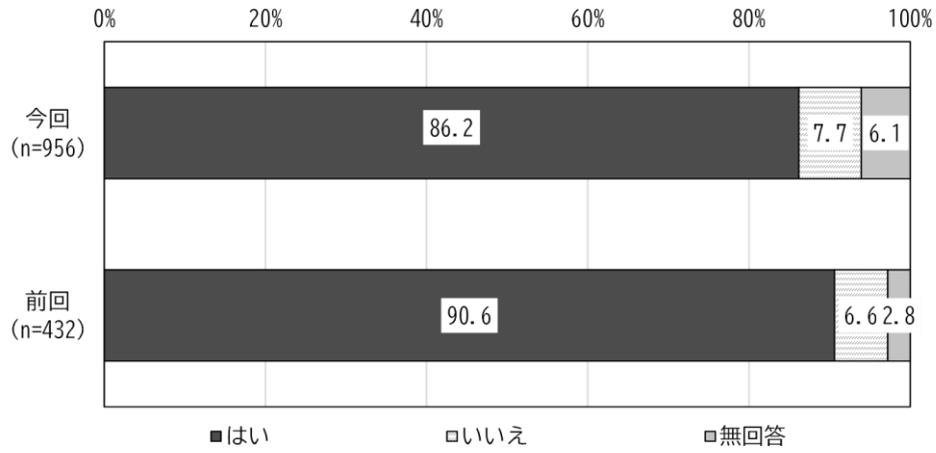
問4-6 歯の数と入れ歯の利用状況

【SA】



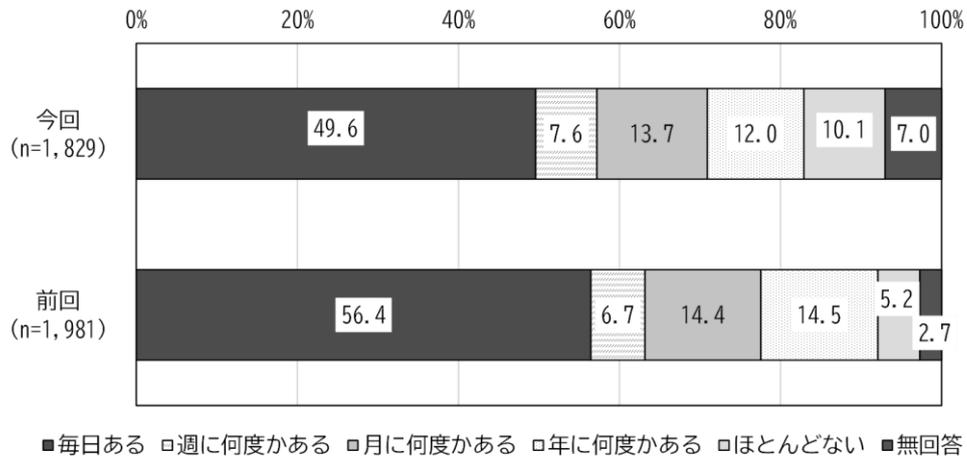
問4-6(1) 毎日入れ歯の手入れをしているか

【SA】



問4-8 誰かと食事をとる機会

【SA】

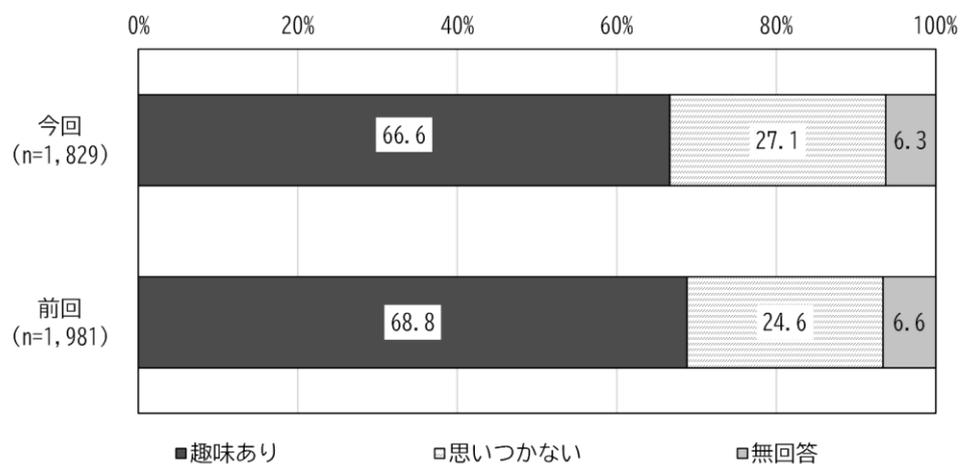


5. 毎日の生活について

○問5-1から問5-14は生活機能評価のための設問ですので、37～40ページに評価のグラフを掲載。

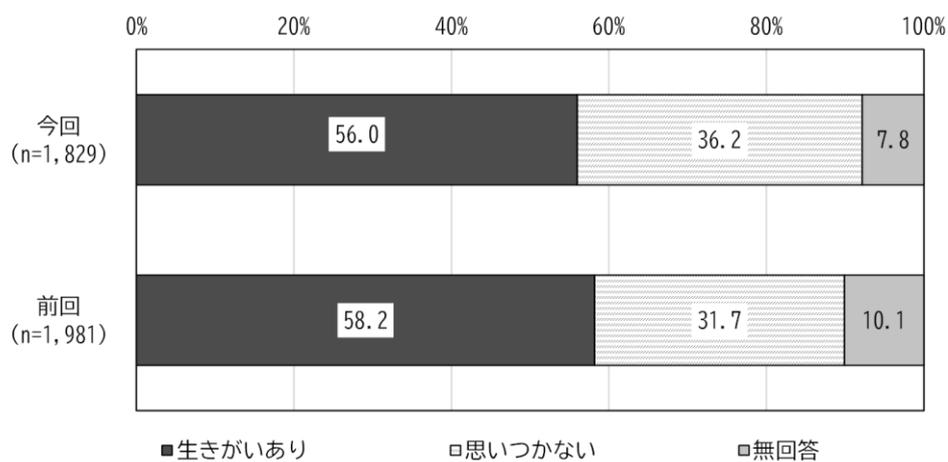
問5-15 趣味はあるか

【SA】



問5-16 生きがいはあるか

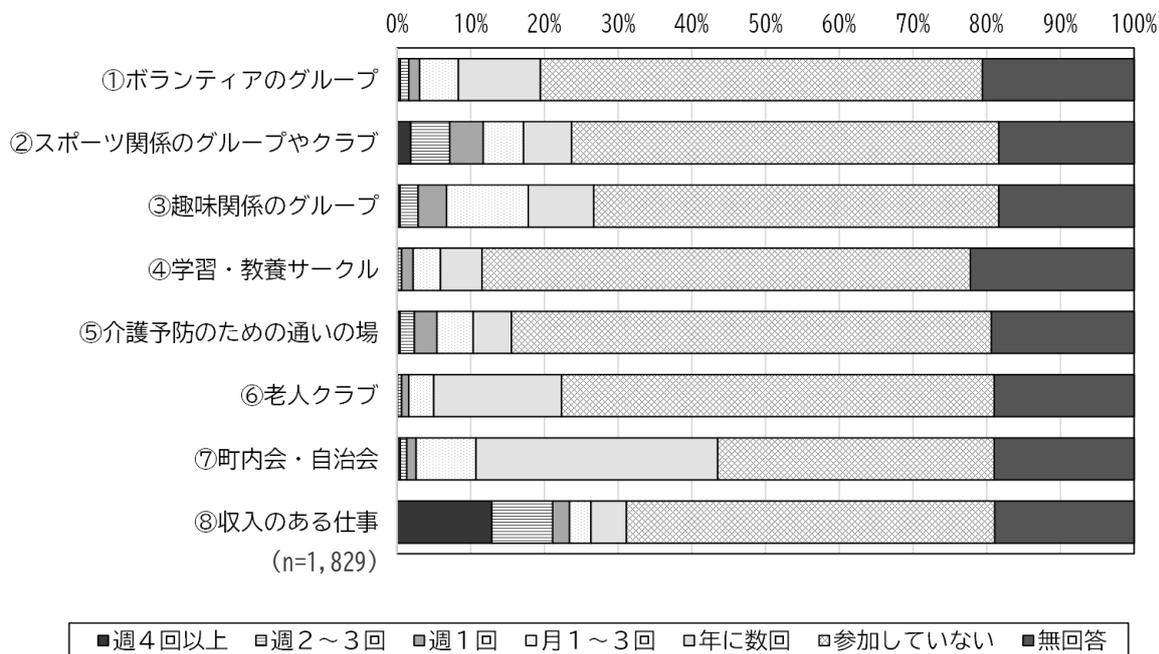
【SA】



6. 地域活動やたすけあいについて

問6-1 会・グループ等の参加頻度

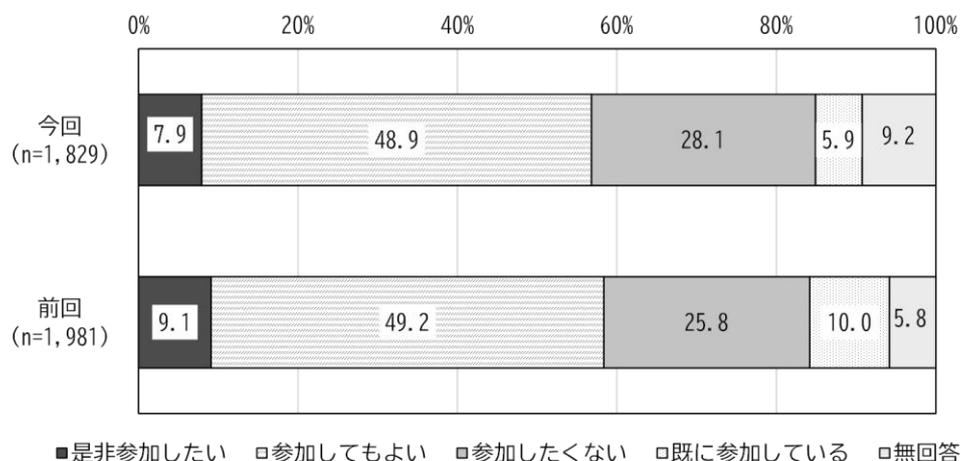
【MA】



	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
① ボランティアのグループ	0.4	1.1	1.5	5.2	11.2	60.0	20.6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1.9	5.3	4.5	5.5	6.5	58.0	18.4
③ 趣味関係のグループ	0.4	2.5	3.9	11.1	8.9	54.9	18.4
④ 学習・教養サークル	0.1	0.5	1.6	3.7	5.6	66.3	22.2
⑤ 介護予防のための通いの場	0.4	2.0	3.1	4.9	5.2	65.1	19.4
⑥ 老人クラブ	0.1	0.5	1.0	3.4	17.3	58.7	19.0
⑦ 町内会・自治会	0.4	0.9	1.3	8.1	32.8	37.5	19.0
⑧ 収入のある仕事	12.8	8.3	2.3	2.9	4.8	50.0	18.9

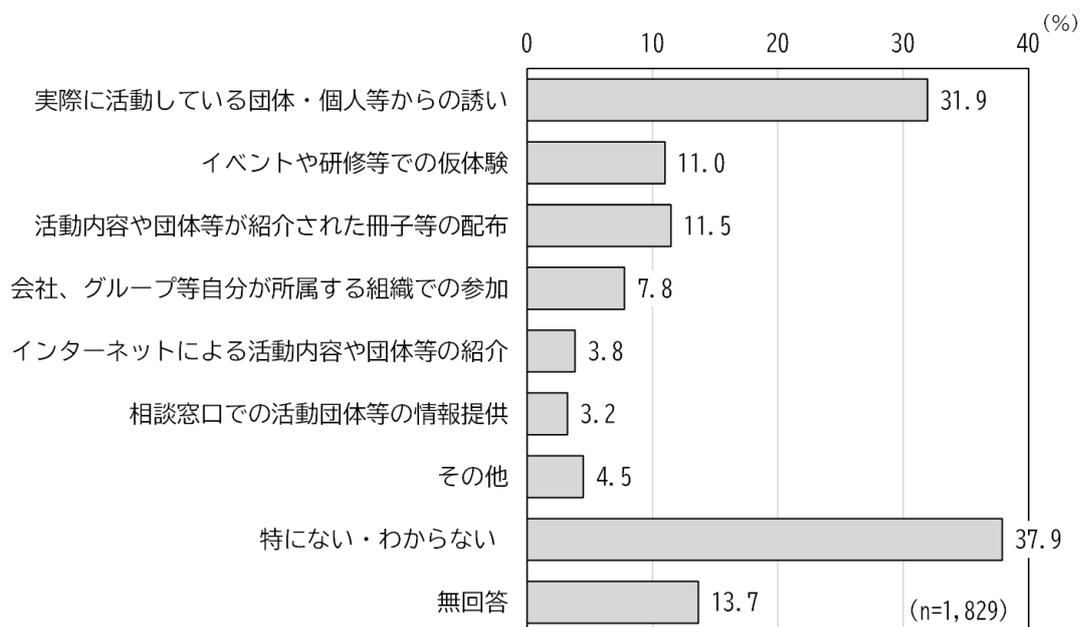
問6-2 いきいきとした地域づくり活動への参加意向

【SA】



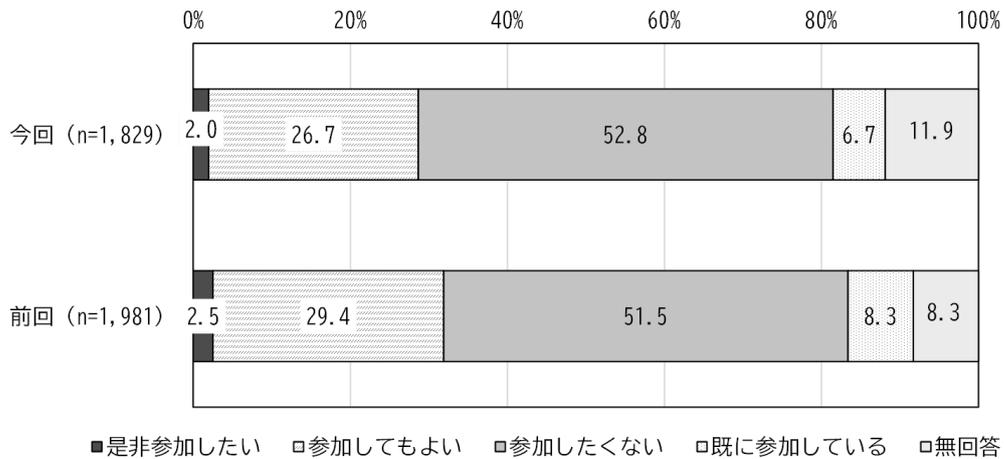
問6-2(1) 地域活動に参加しやすいきっかけ

【SA】



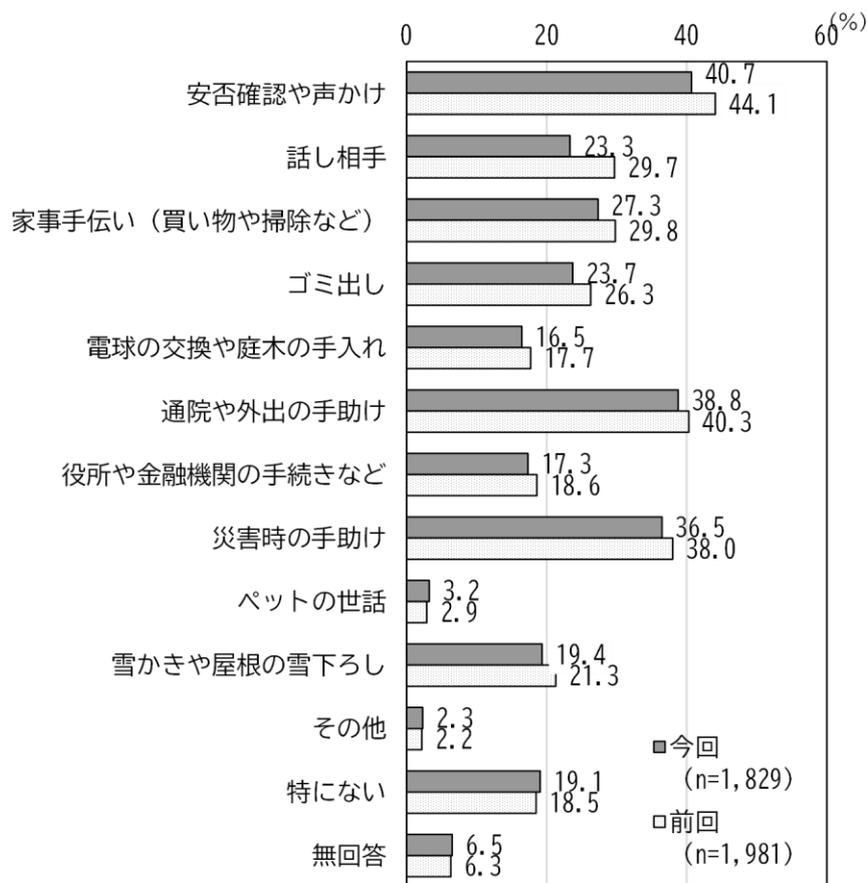
問6-3 問6-2の活動へ企画・運営としての参加意向

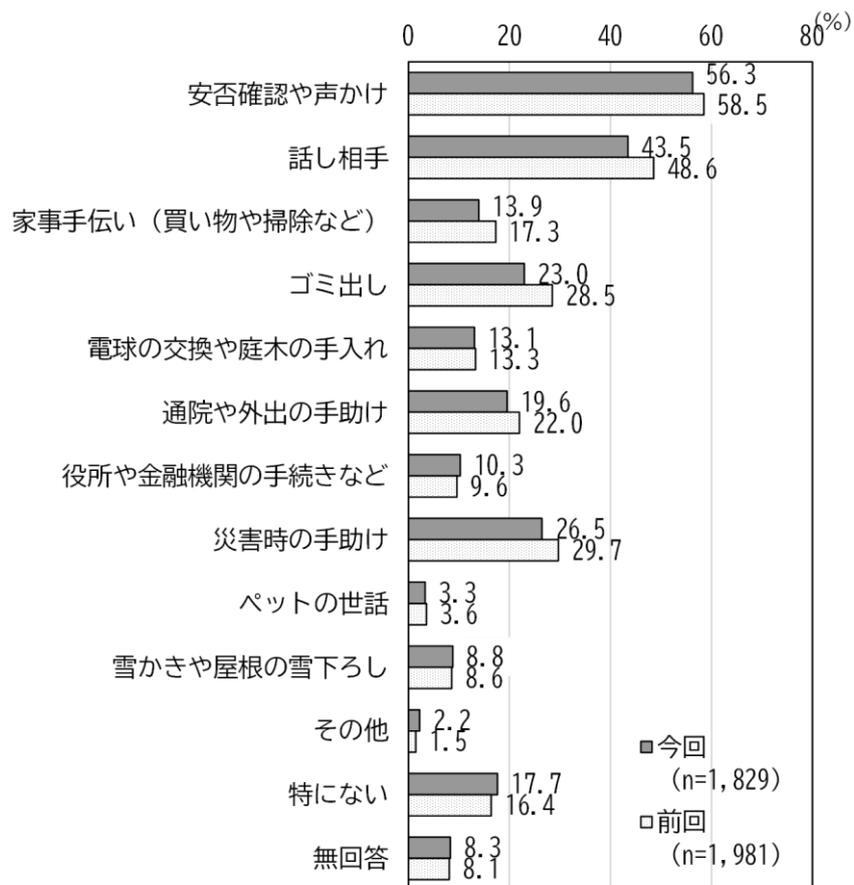
【SA】



問6-4 不自由になったとき、近所や地域にして欲しいこと

【MA】

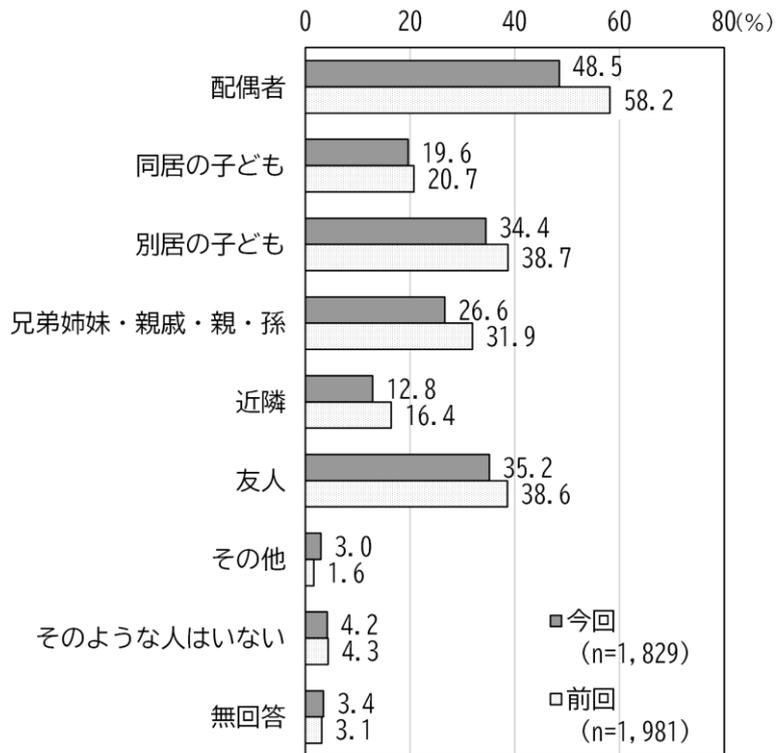




7. あなたとまわりの人の「たすけあい」について

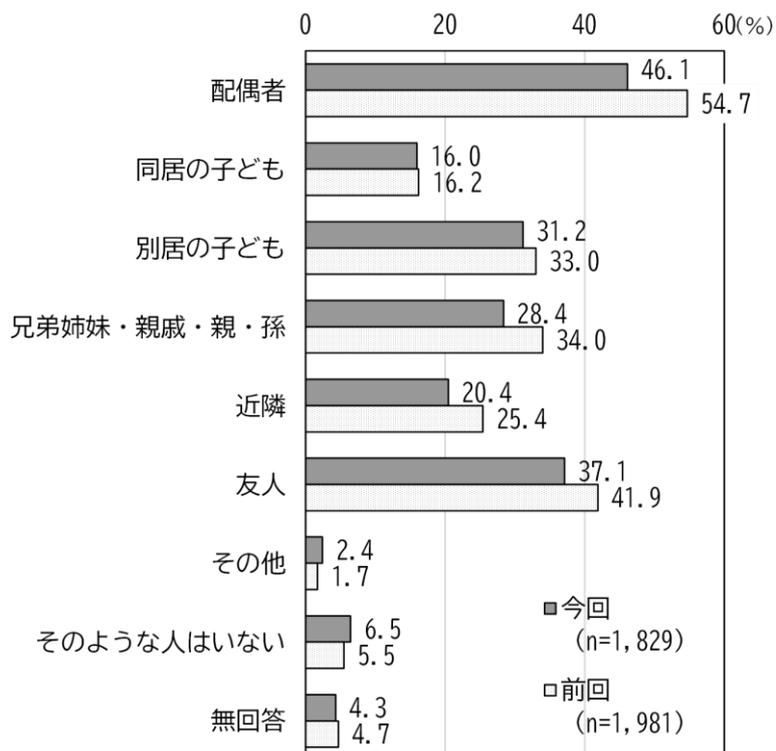
問7-1 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人

【MA】



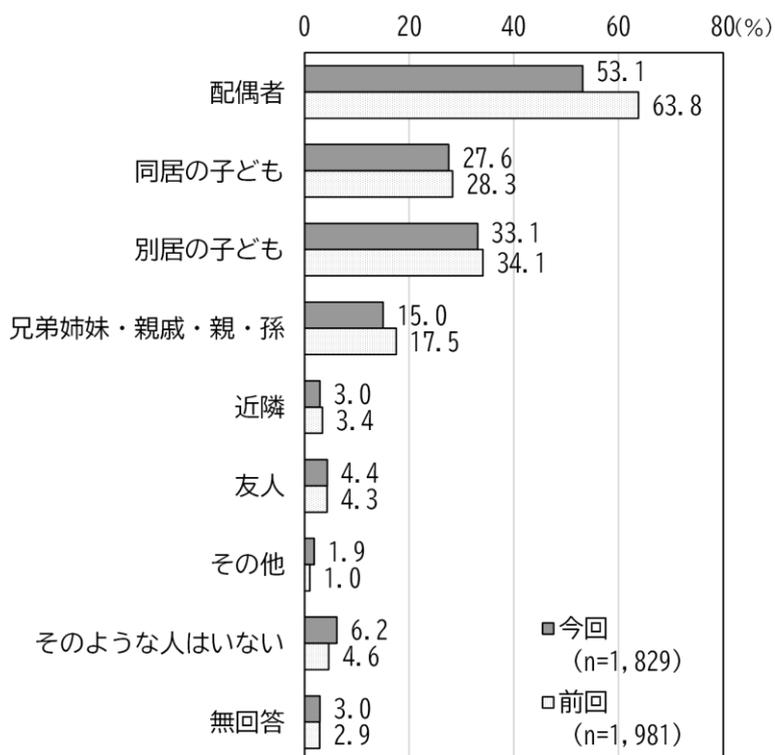
問7-2 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人

【MA】



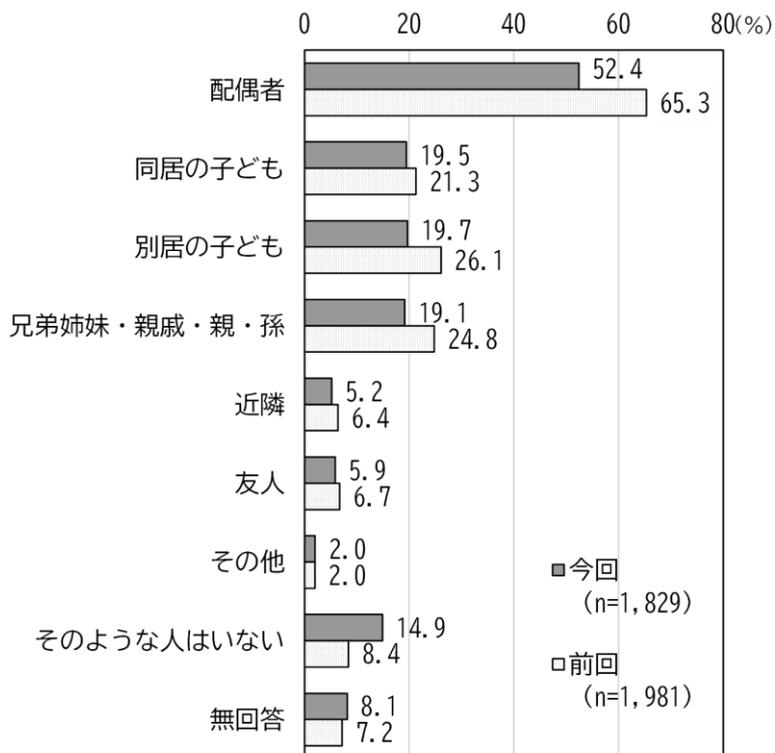
問7-3 看病や世話をしてくれる人

【MA】



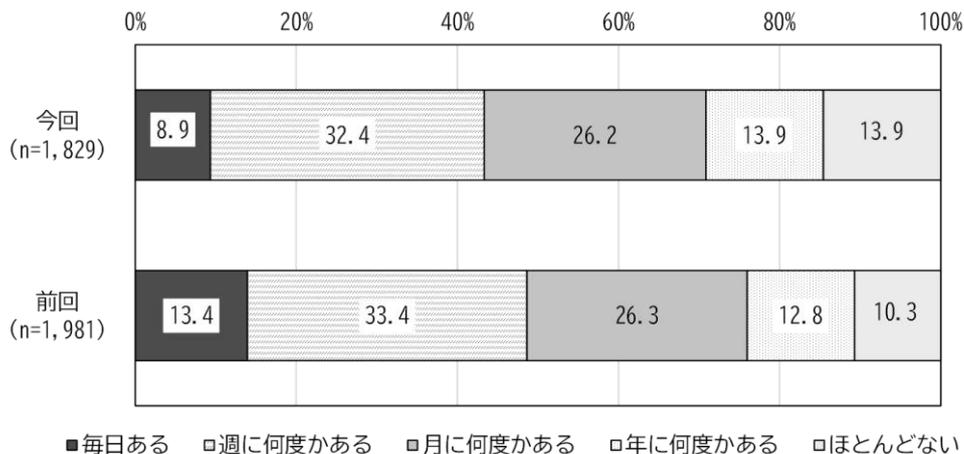
問7-4 看病や世話をしてあげる人

【MA】



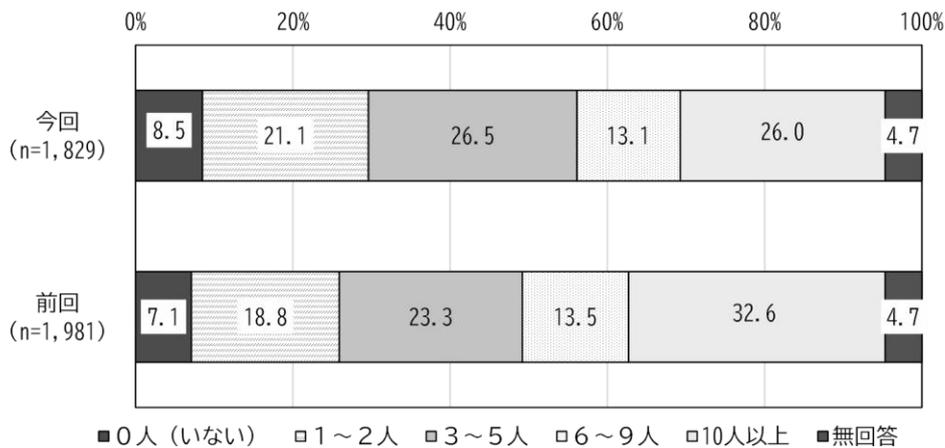
問7-5 友人・知人と会う頻度

【SA】



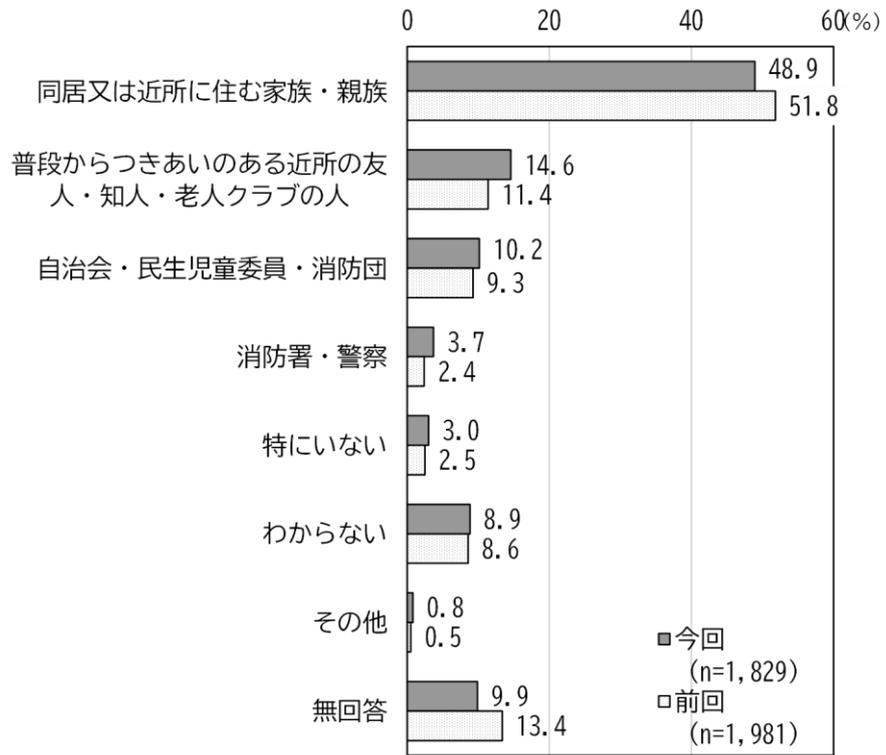
問7-6 この1か月間に会った友人・知人

【SA】



問7-7 手助けが必要となったとき手助けしてくれる人

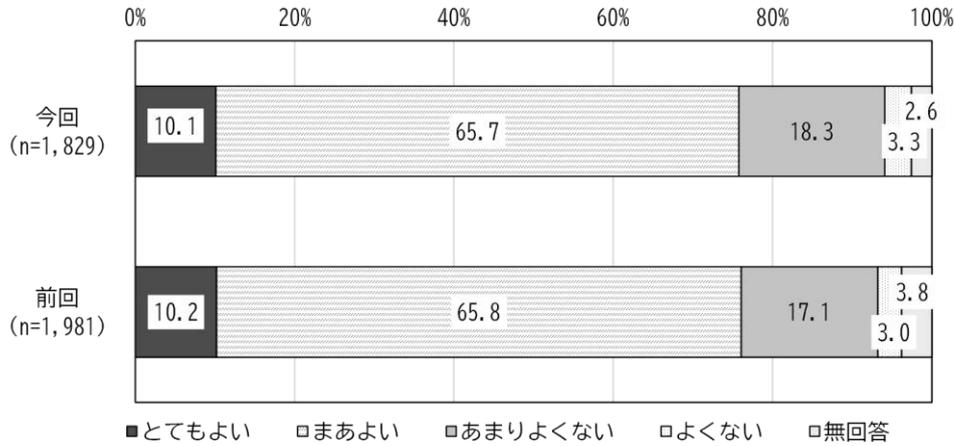
【SA】



8. 健康について

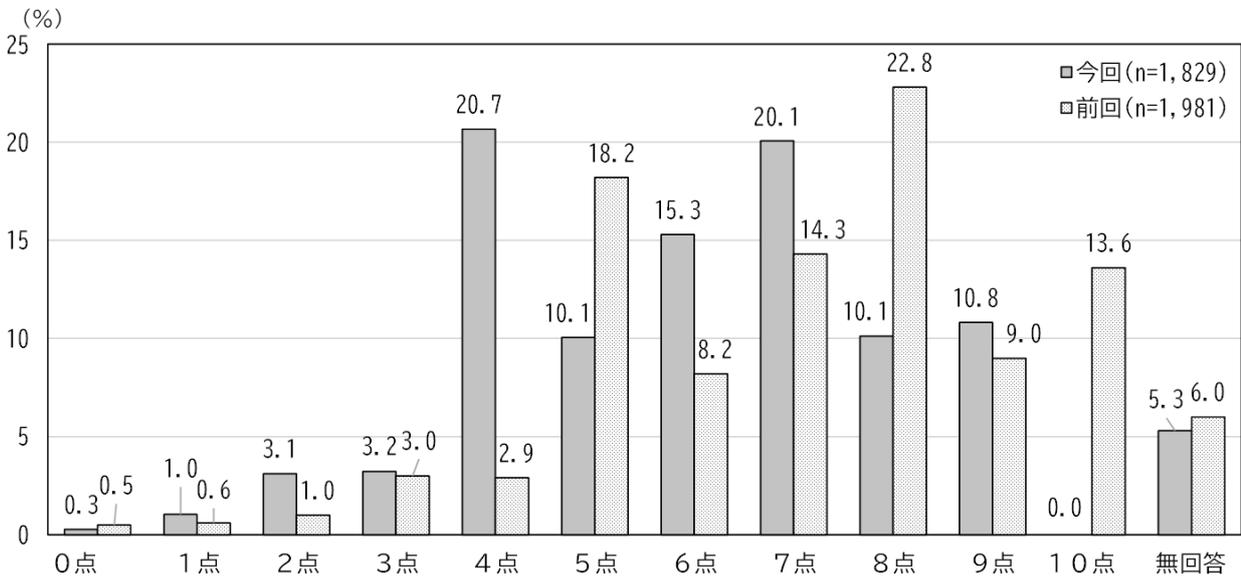
問8-1 現在のあなたの健康状態

【SA】



問8-2 現在のあなたの幸福度

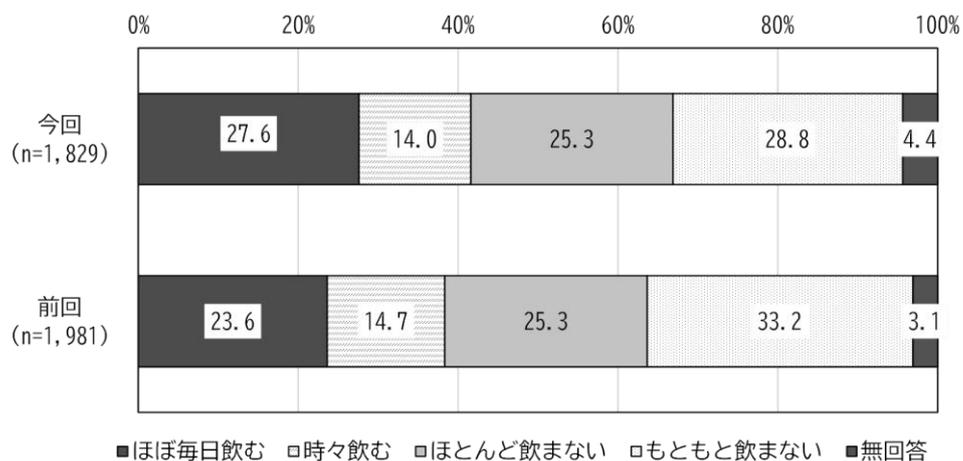
【SA】



○問8-3から問8-4は生活機能評価のための設問ですので、37～40ページに評価のグラフを掲載。

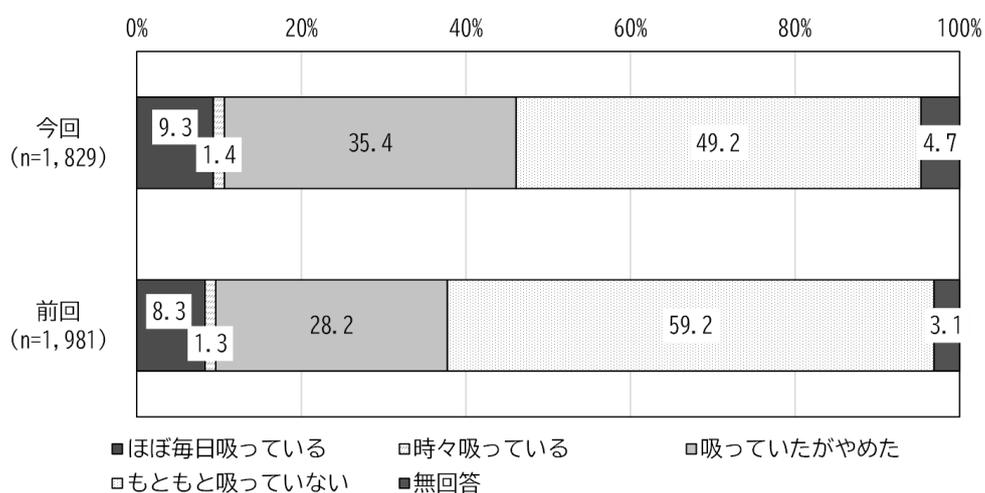
問8-5 お酒は飲むか

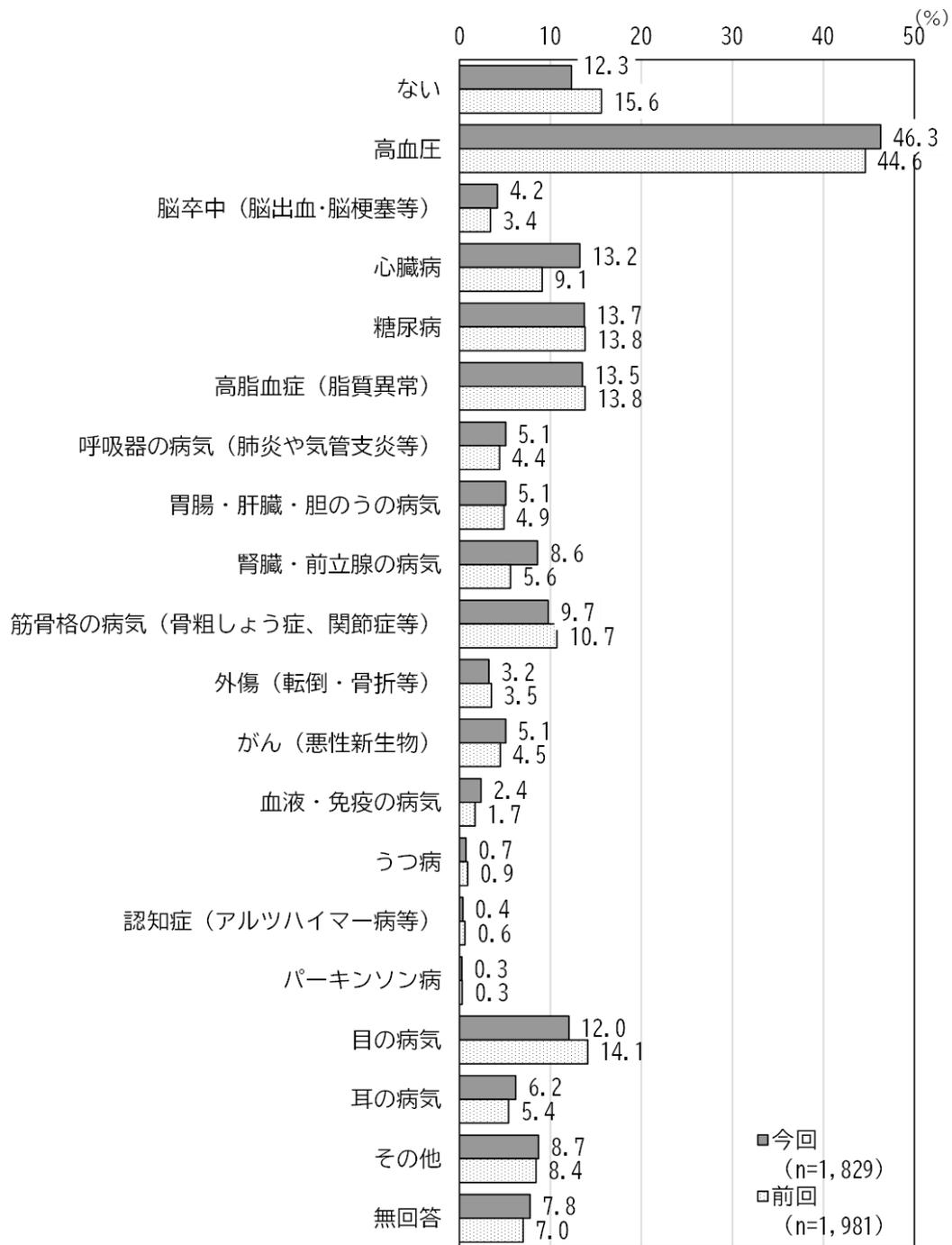
【SA】



問8-6 タバコは吸っているか

【SA】

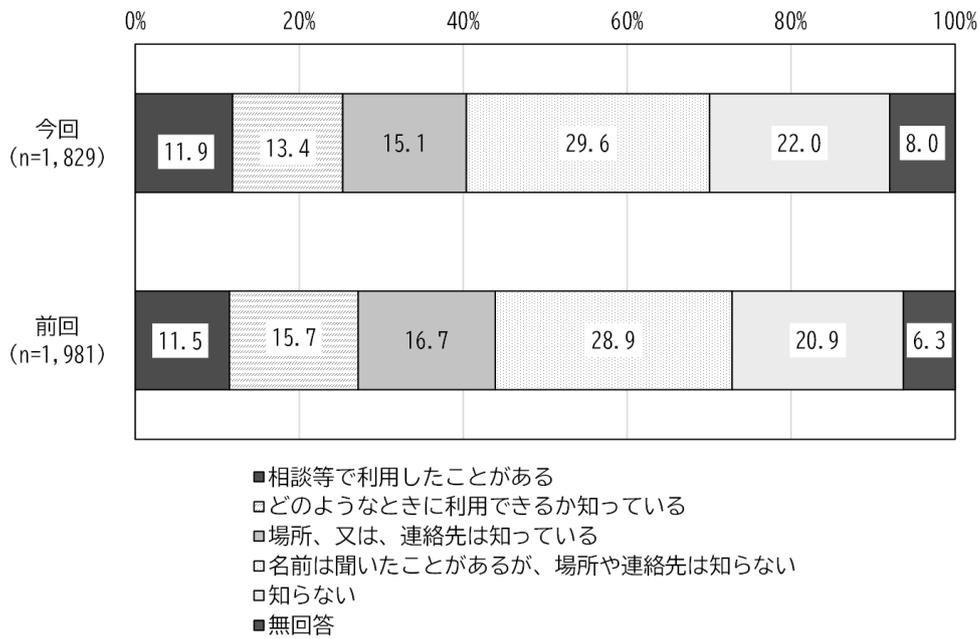




9. 介護保険制度や高齢者への支援について

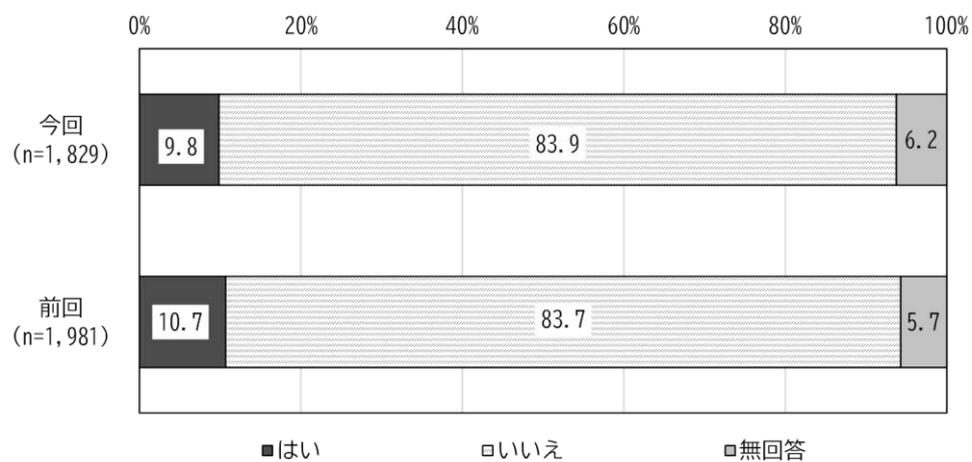
問9-1 「地域包括支援センター」を知っているか

【SA】



問9-2 認知症の症状がある人がいるか

【SA】



問9-3 認知症についてのイメージ

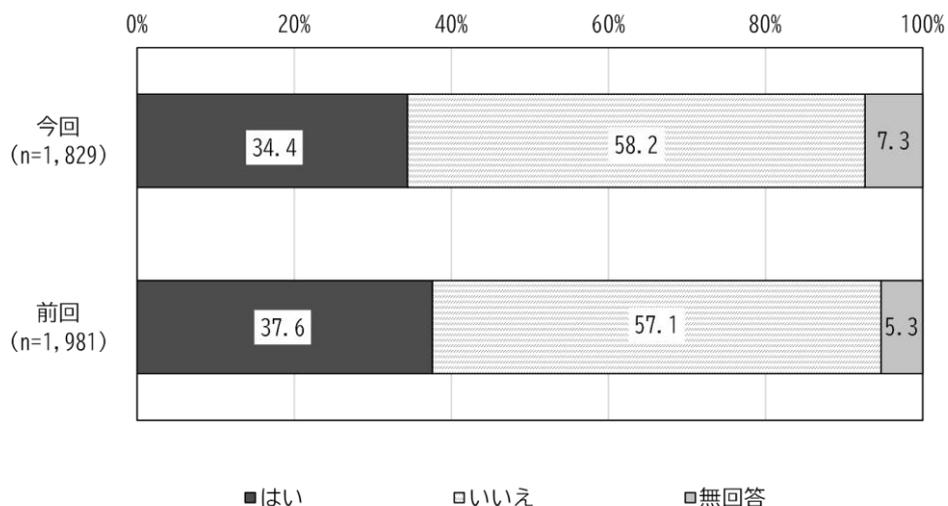
【SA】



- できないことを自ら工夫して補いながら、今までどおり自立的に生活できる
- 医療・介護などのサポートを利用しながら、地域で生活していける
- 身の回りのことができなくなり、介護施設を利用することが必要になる
- 暴言、暴力などまわりの人に迷惑をかけてしまうので、地域で生活することが難しくなる
- 認知症になると、症状が進行して、何もできなくなってしまう
- 無回答

問9-4 認知症に関する相談窓口を知っているか

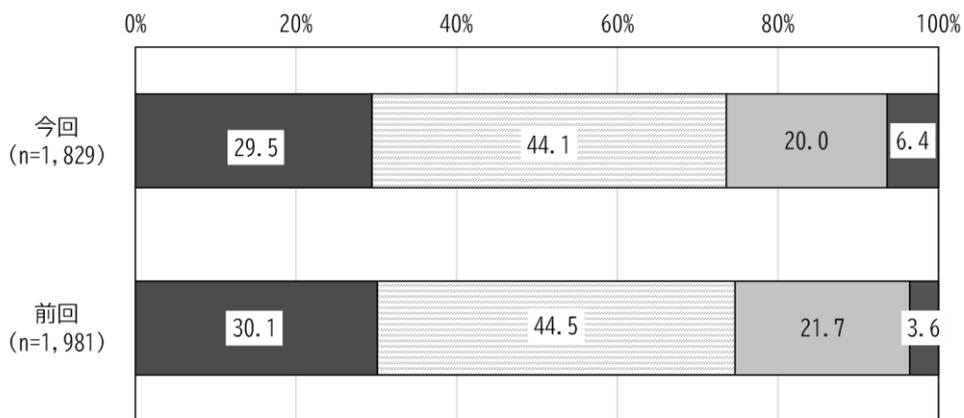
【SA】



- はい
- いいえ
- 無回答

問9-5 「成年後見制度」を知っているか

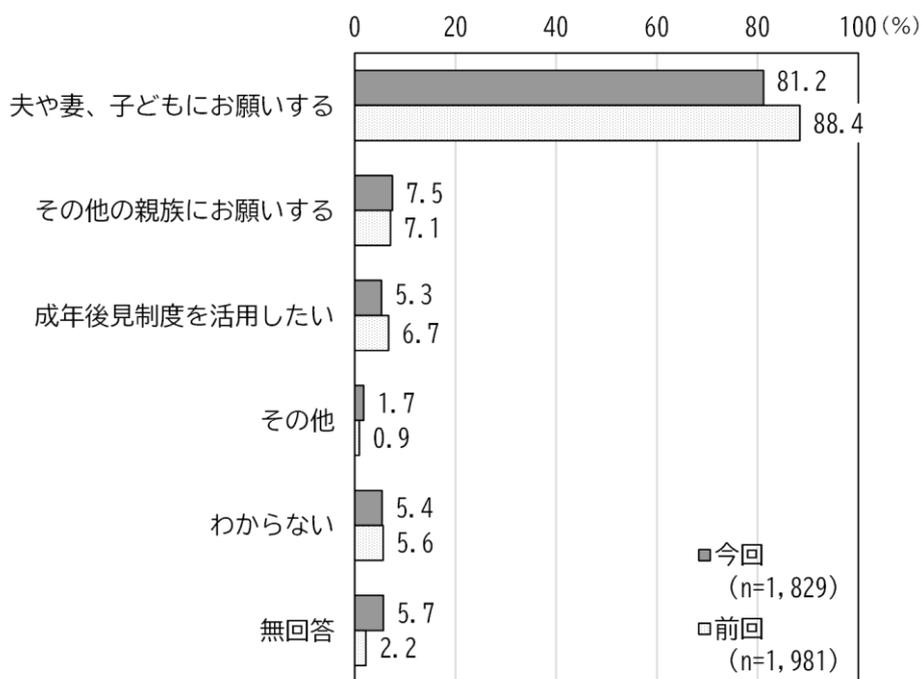
【SA】



■知っている □聞いたことはあるが、内容までは知らない □まったく知らない ■無回答

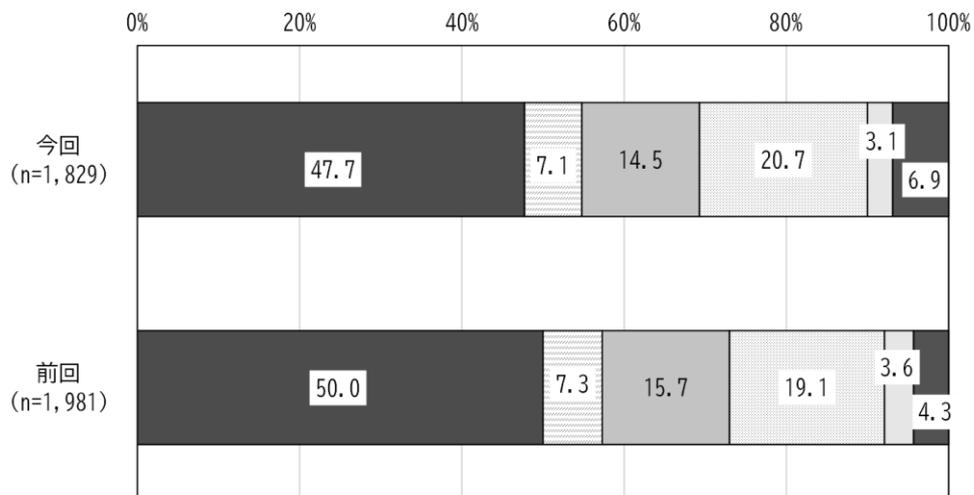
問9-6 認知症等で判断能力が不十分になったときの様々なサービスの手続方法

【MA】



問9-7 支援が必要になった場合、生活したい場所

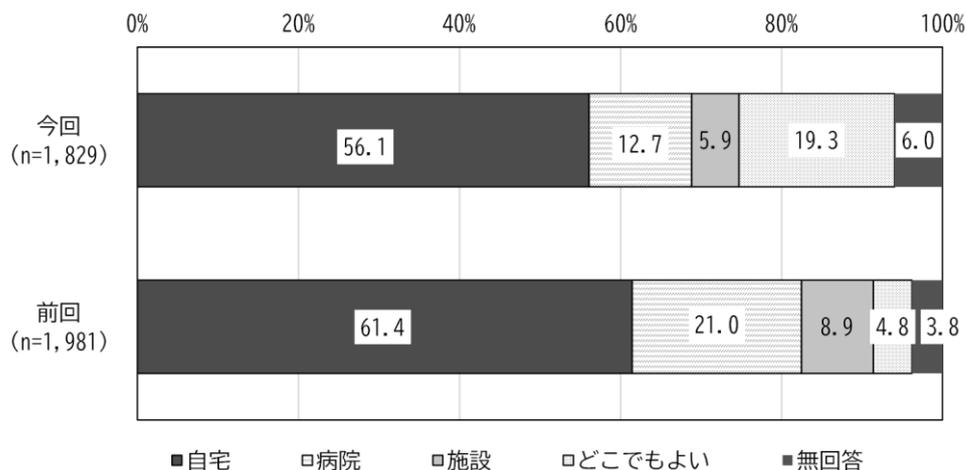
【SA】



- 一人暮らしとなっても、現在住んでいる自宅や地域で過ごしたい
- 一人で暮らすのは不安なので、現在住んでいる地域を離れても子どもや親族の家で過ごしたい
- 見守りや生活支援がある高齢者向けの住宅で過ごしたい（サービス付高齢者住宅 等）
- 特別養護老人ホームやグループホームなどの入所施設で過ごしたい
- その他
- 無回答

問9-8 人生最期を迎えたい場所

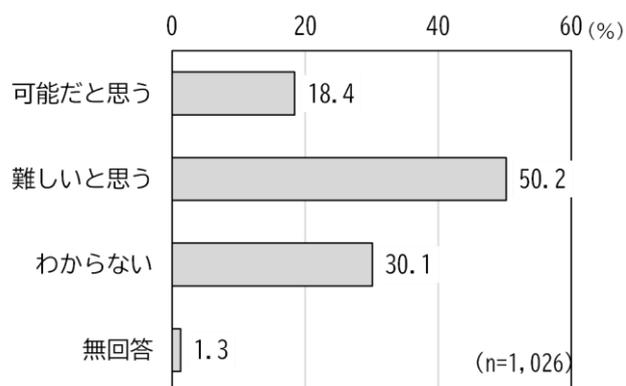
【SA】



問9-8(1) 自宅で最期まで療養は可能か

【SA】

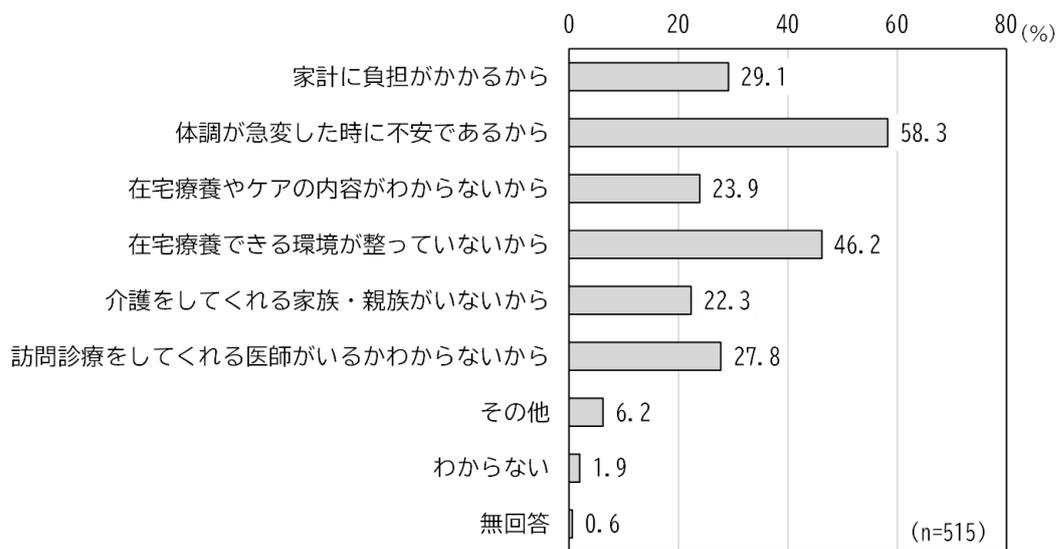
問9-8で「1. 自宅」と回答した人のみ



問9-8(2) 在宅での療養が難しいと思う理由

【MA】

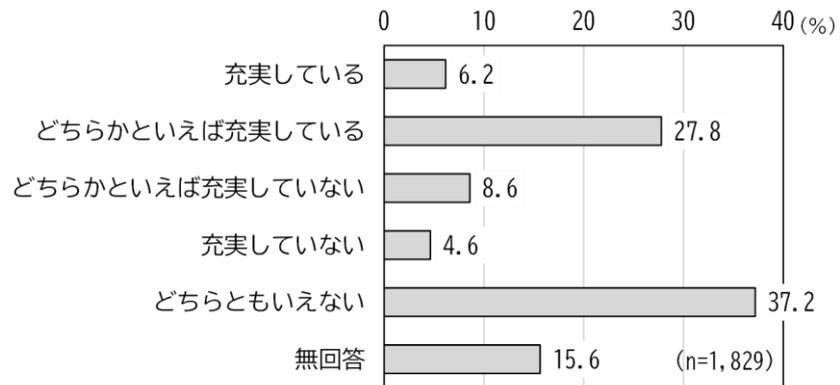
問9-8(1)で「2. 難しいと思う」と回答した人のみ



10. 南丹市の高齢者施策について

問 10-1 南丹市の在宅福祉サービスは充実しているか

【SA】



I-II 生活機能評価

1. 生活機能評価手法の概要

(1)生活機能

①運動器機能低下：次の設問で3項目以上、該当する選択肢が回答された場合

問番号	項目	選択肢
問2-1	階段	「3. できない」
問2-2	椅子からの立ち上がり	「3. できない」
問2-3	15分歩行	「3. できない」
問2-4	転倒経験	「1. 何度もある」「2. 1度ある」
問2-5	転倒不安	「1. とても不安である」「2. やや不安である」

②転倒リスク：次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	項目	選択肢
問2-4	転倒経験	「1. 何度もある」「2. 1度ある」

③閉じこもり傾向：次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	項目	選択肢
問3-1	週1回の外出	「1. ほとんど外出しない」「2. 週1回」

④低栄養：次の設問で2問ともに該当する場合

問番号	項目	選択肢
問4-1	身長・体重	() cm () kg BMI (体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が18.5以下の場合
問4-7	体重減	「1. はい」

⑤口腔機能低下：次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	項目	選択肢
問4-2	咀嚼	「1. はい」
問4-3	お茶や汁物でむせる	「1. はい」
問4-4	口の渇き	「1. はい」

⑥認知機能低下：次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	項目	選択肢
問5-1	物忘れ	「1. はい」

⑦うつ傾向：次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	項目	選択肢
問8-3	ゆううつな気持ち	「1. はい」
問8-4	心から楽しめない	「1. はい」

(2)老研式活動能力指標

①手段的自立度（IADL）¹：以下の5設問の合計点数で評価

・5点：高い　・4点：やや低い　・0～3点：低い

問番号	項目	配点	選択肢
問5-2	外出	1	「1. できるししている」または「2. できるけどしていない」
		0	「3. できない」
問5-3	買物	1	「1. できるししている」または「2. できるけどしていない」
		0	「3. できない」
問5-4	食事用意	1	「1. できるししている」または「2. できるけどしていない」
		0	「3. できない」
問5-5	支払い	1	「1. できるししている」または「2. できるけどしていない」
		0	「3. できない」
問5-6	預貯金	1	「1. できるししている」または「2. できるけどしていない」
		0	「3. できない」

②知的能動性：以下の4設問の合計点数で評価

・4点：高い　・0～3点：低い

問番号	項目	配点	選択肢
問5-7	年金書類	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」
問5-8	新聞	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」
問5-9	本や雑誌	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」
問5-10	健康への関心	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」

IADL：買物・電話・外出等、高い自立した日常生活をおくる能力。手段的日常生活動作能力

③社会的役割：以下の4設問の合計点数で評価

・4点：高い　・0～3点：低い

問番号	項目	配点	選択肢
問5-11	訪問	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」
問5-12	相談	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」
問5-13	見舞い	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」
問5-14	話かけ	1	「1. はい」
		0	「2. いいえ」

2. 評価結果

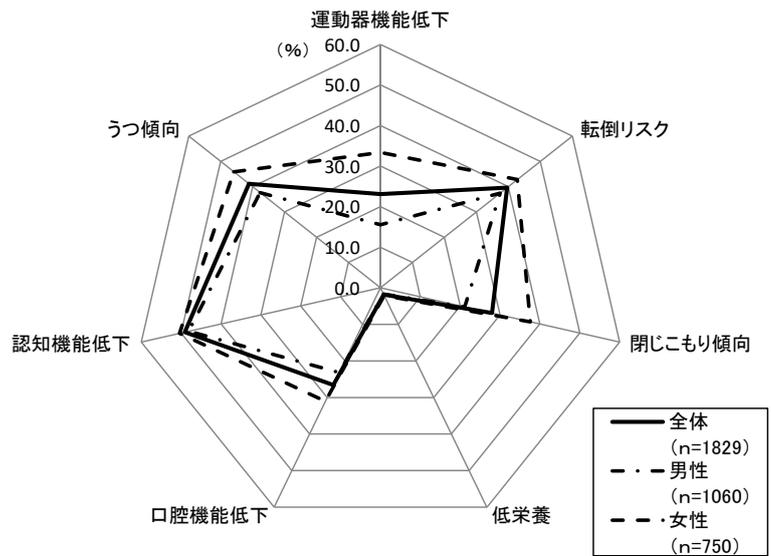
1. 生活機能

○生活機能の評価項目ごとの該当者（リスク者）の割合は、全体では「認知機能低下」が49.1%と特に高くなっています。

○性別にみるとすべての項目で、“男性”と比較して“女性”の該当者の割合が高くなっており、特に「運動器機能低下」「閉じこもり傾向」については差が10ポイント以上となっています。

性別該当者割合

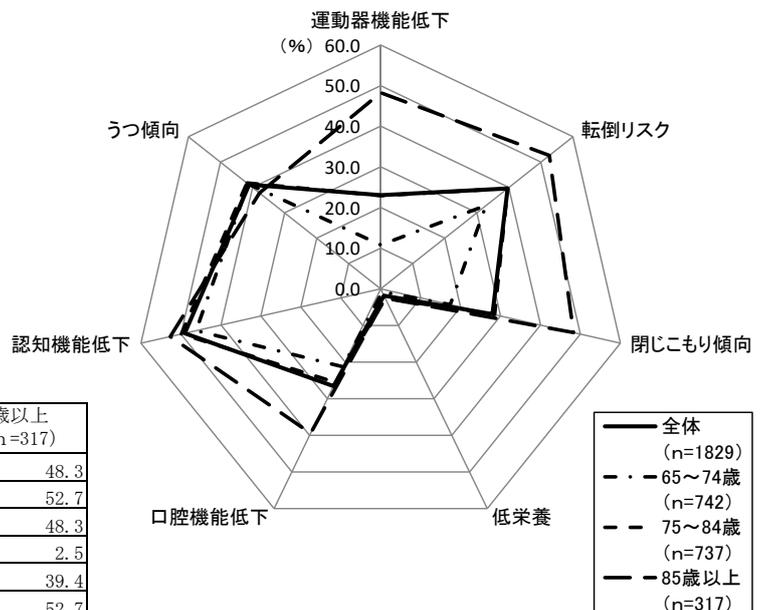
単位：%	全体 (n=1829)	男性 (n=1060)	女性 (n=750)
運動器機能低下	23.1	15.6	33.3
転倒リスク	39.6	37.5	42.8
閉じこもり傾向	28.0	21.1	37.6
低栄養	1.9	1.7	2.1
口腔機能低下	26.6	23.2	31.1
認知機能低下	49.1	48.1	50.4
うつ傾向	41.1	37.6	45.9



○年齢区別にみると「うつ傾向」以外で、“85歳以上”の該当者の割合が高くなっており、特に「運動器機能低下」「転倒リスク」「閉じこもり傾向」「口腔機能低下」については、他の年齢区分より差が10から20ポイント以上高くなっています。一方で、「低栄養」「認知機能低下」は全ての年齢区分でほとんど差がみられません。

年齢区別該当者割合

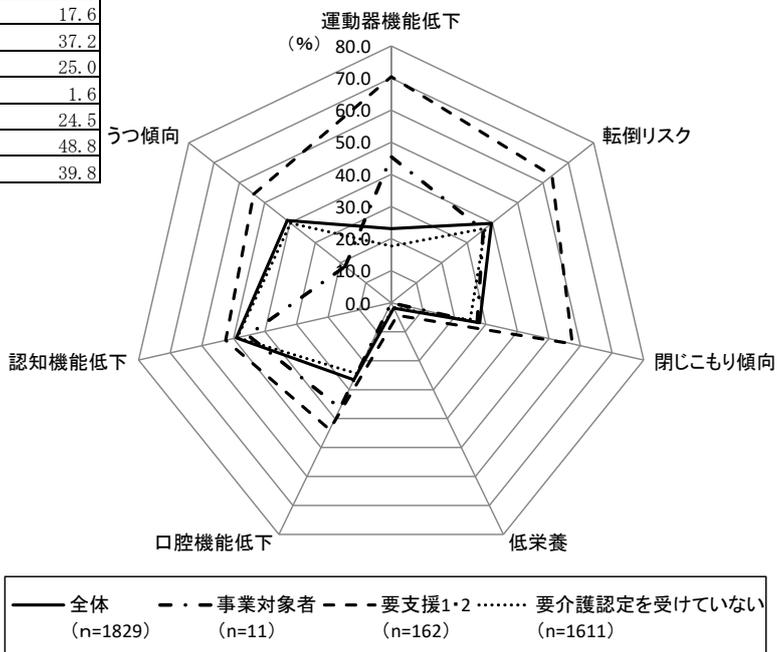
単位：%	全体 (n=1829)	65～74歳 (n=742)	75～84歳 (n=737)	85歳以上 (n=317)
運動器機能低下	23.1	10.8	22.9	48.3
転倒リスク	39.6	32.9	39.6	52.7
閉じこもり傾向	28.0	17.4	28.5	48.3
低栄養	1.9	0.8	2.6	2.5
口腔機能低下	26.6	21.3	25.5	39.4
認知機能低下	49.1	46.2	49.9	52.7
うつ傾向	41.1	41.4	41.8	37.9



○要介護状態区別ではすべての項目で、“要支援1・2”の該当者の割合が“総合事業対象者”“要介護認定を受けていない”と比較して高くなっています。

要介護区別該当者割合

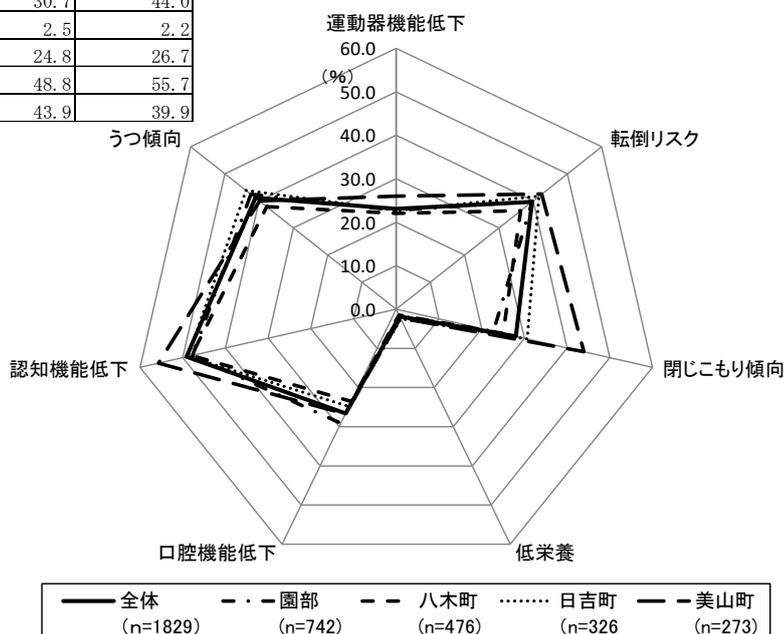
単位：%	全体 (n=1829)	事業対象者 (n=11)	要支援1・2 (n=162)	要介護認定を受けていない (n=1611)
運動器機能低下	23.1	45.5	70.4	17.6
転倒リスク	39.6	36.4	63.6	37.2
閉じこもり傾向	28.0	27.3	57.4	25.0
低栄養	1.9	0.0	4.3	1.6
口腔機能低下	26.6	36.4	43.8	24.5
認知機能低下	49.1	45.5	52.5	48.8
うつ傾向	41.1	18.2	54.3	39.8



○居住地区別にみると、“美山町”で「閉じこもり」「認知機能低下」の該当者の割合が高くなっており、“日吉町”では「うつ傾向」が、“園部”では「口腔機能低下」が他と比較して高くなっています。

居住地区別該当者割合

単位：%	全体 (n=1829)	園部 (n=742)	八木町 (n=476)	日吉町 (n=326)	美山町 (n=273)
運動器機能低下	23.1	22.8	22.1	22.7	26.0
転倒リスク	39.6	39.8	36.3	41.7	42.5
閉じこもり傾向	28.0	22.8	25.0	30.7	44.0
低栄養	1.9	1.8	1.5	2.5	2.2
口腔機能低下	26.6	29.1	23.5	24.8	26.7
認知機能低下	49.1	47.7	47.9	48.8	55.7
うつ傾向	41.1	42.5	37.8	43.9	39.9

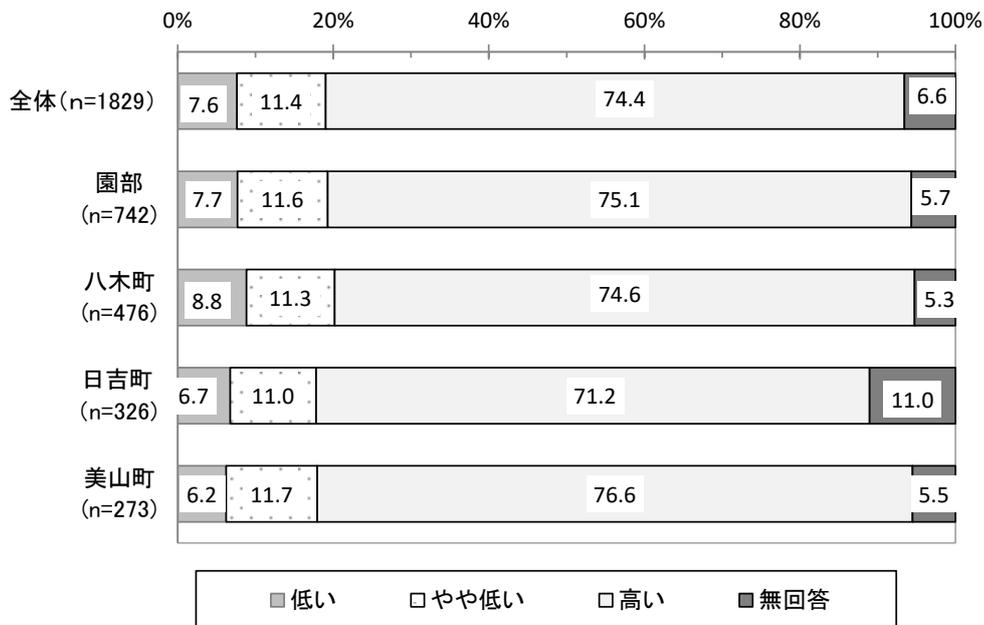


2. 老研式活動能力指標

①手段的自立度（IADL）

○全体では、「低い」「やや低い」を合わせた『低い』が19.0%となっています。

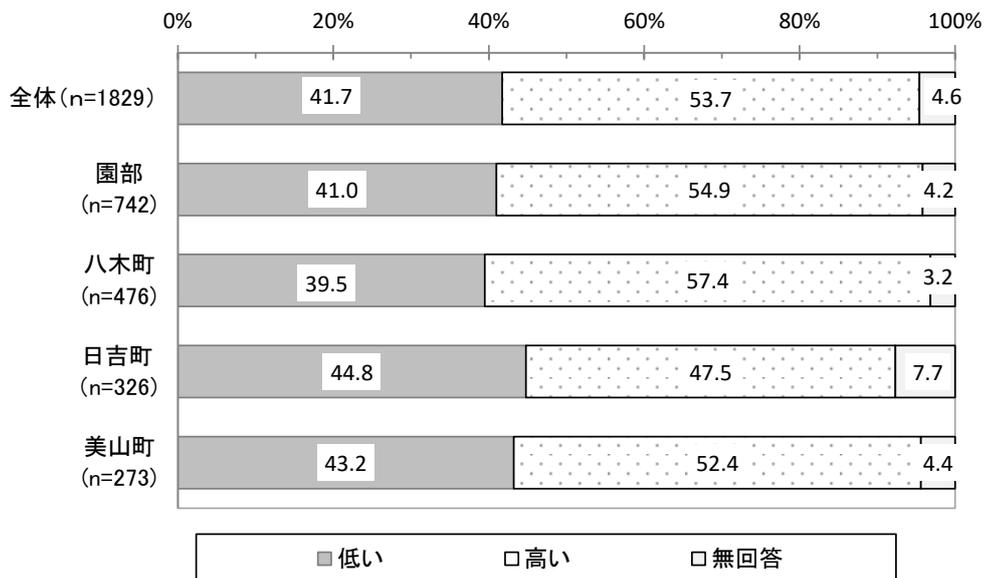
○居住地区別で『低い』の割合をみると、“八木町”の20.1%が最も高く、次いで“園部”で19.4%、“美山町”の17.9%、“日吉町”の17.7%の順となっています。



②知的能動性

○全体では「低い」が41.7%となっています。

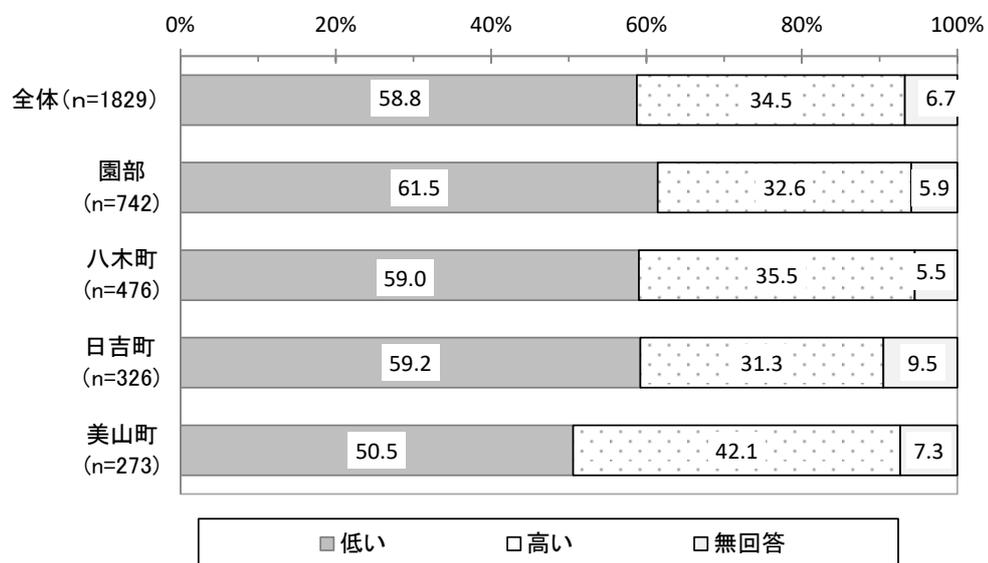
○居住地区別では、“日吉町”で「低い」の割合が44.8%と特に高くなっています。



③社会的役割

○全体では「低い」が58.8%となっています。

○居住地区別では、“園部”で「低い」の割合が61.5%と特に高くなっています。



I - III 在宅介護実態調査結果

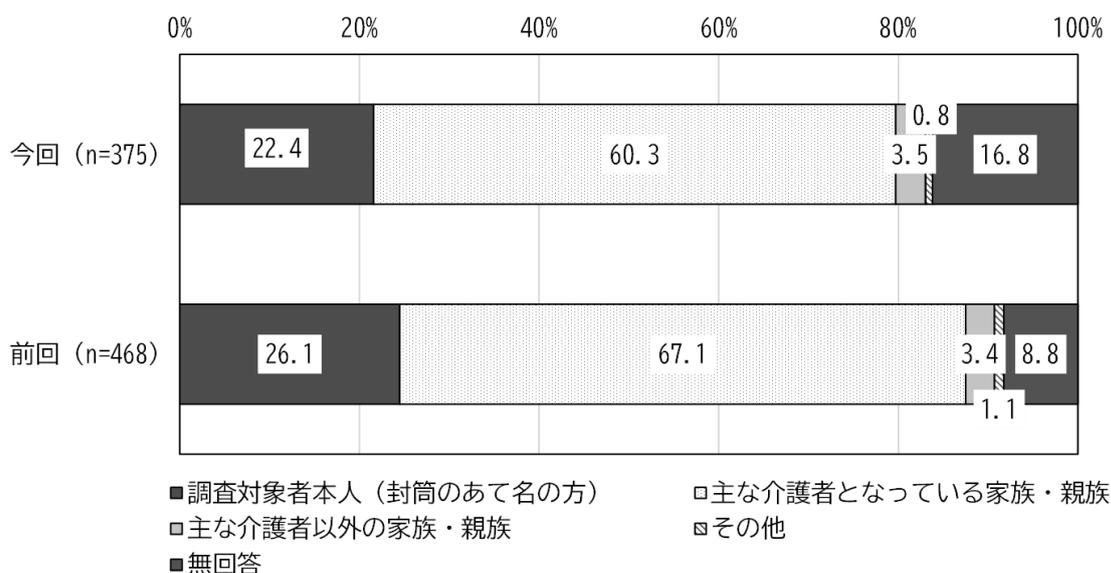
●印の結果は、設問の前段部分で設問番号がついていないもの。

○印は調査票で情報を取得するのではなく、正確さを優先し対象者の被保険者番号情報から取得
(名前、住所等個人が特定できるデータは不使用)

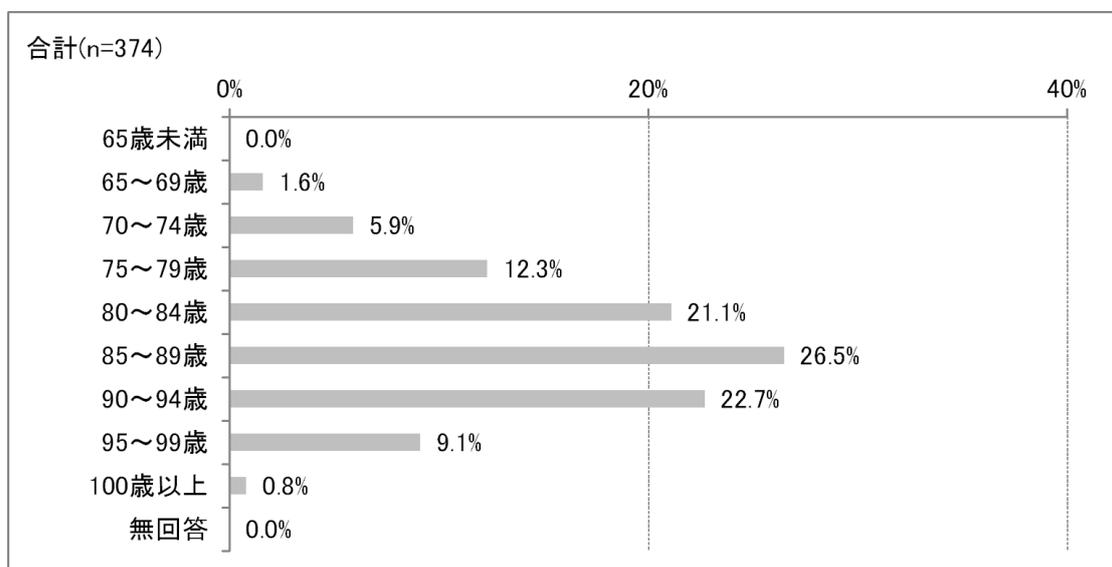
なお、国のツールを使用して作成したグラフは他設問とグラフ形式が違う。(調査対象年齢等)

●調査票の記入者

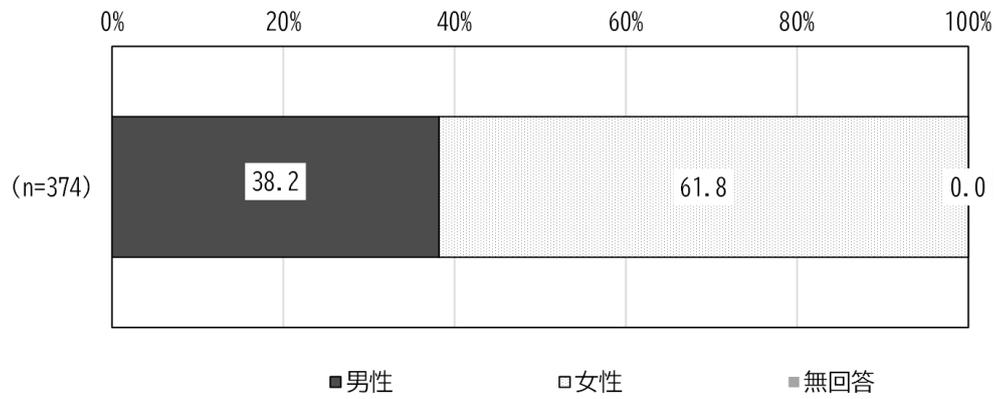
【MA】



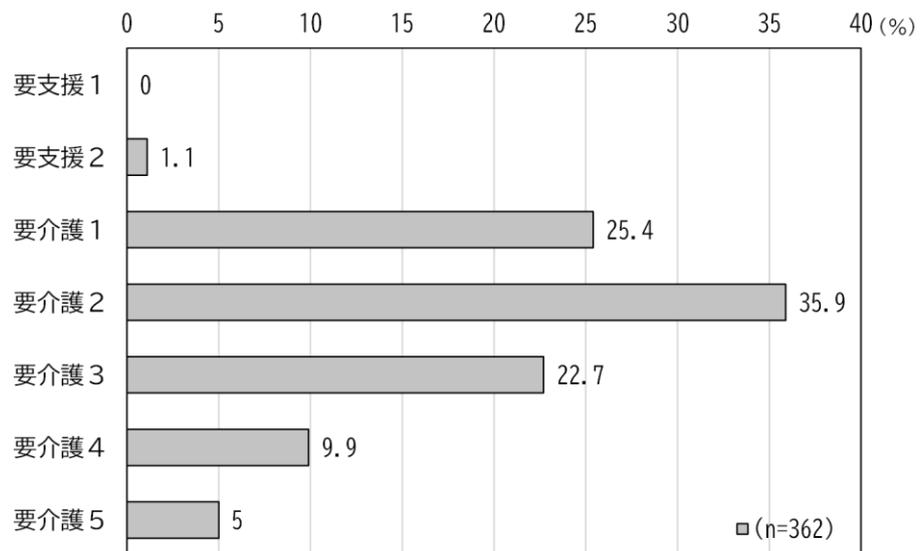
○調査対象者の年齢



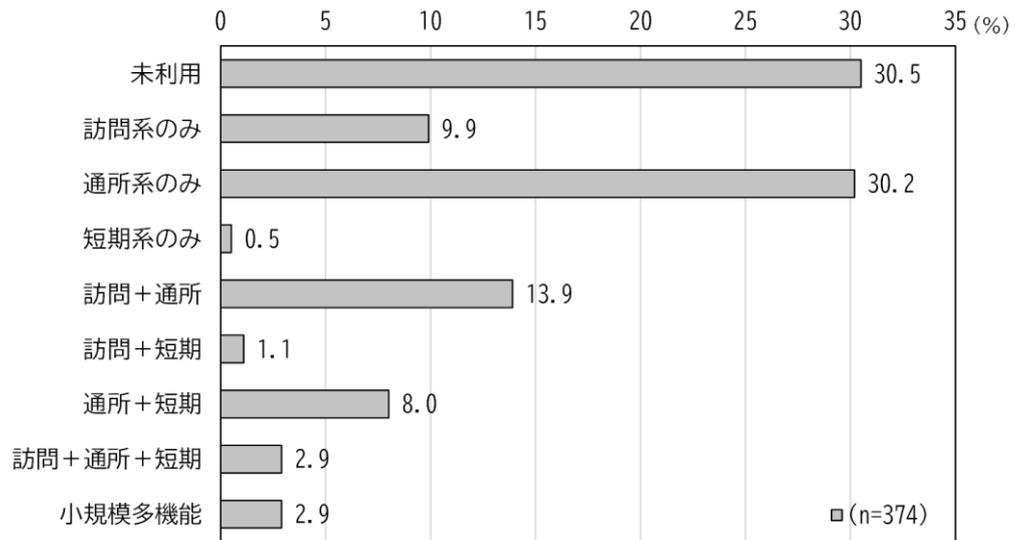
○対象者の性別



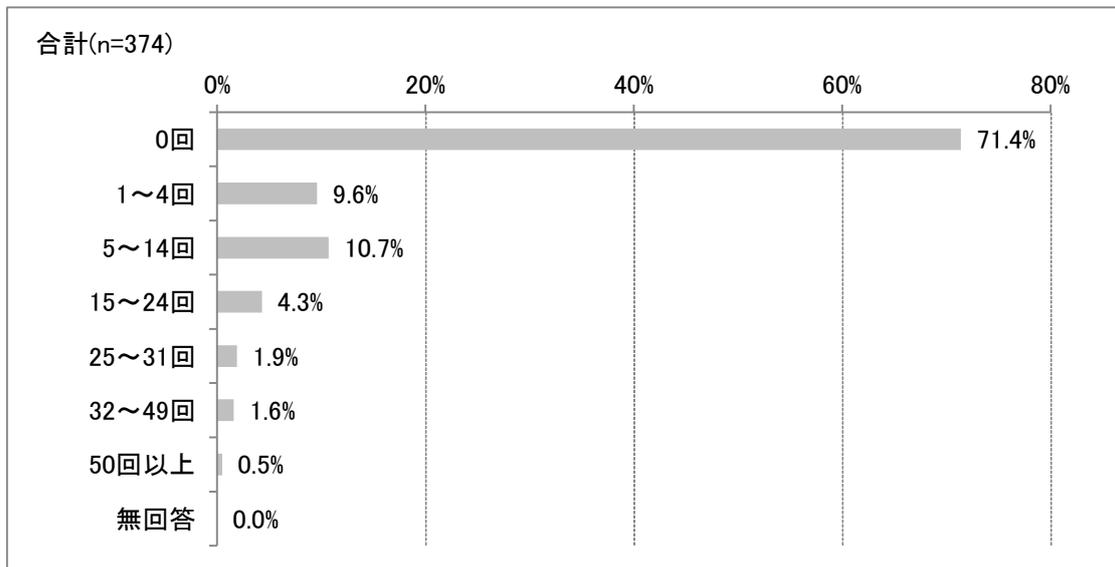
○要介護度



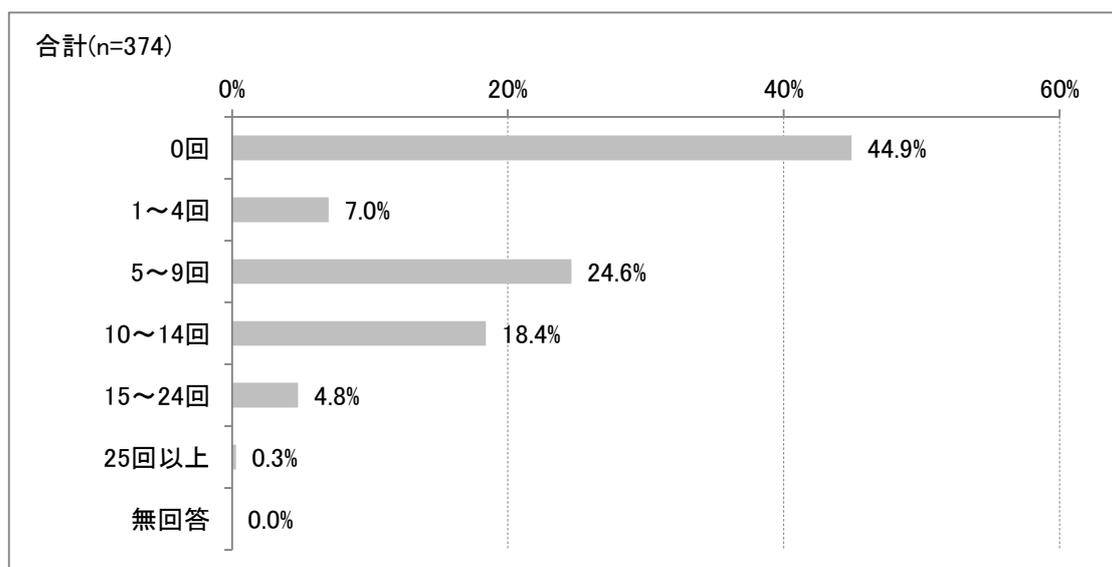
○サービス利用の組み合わせ



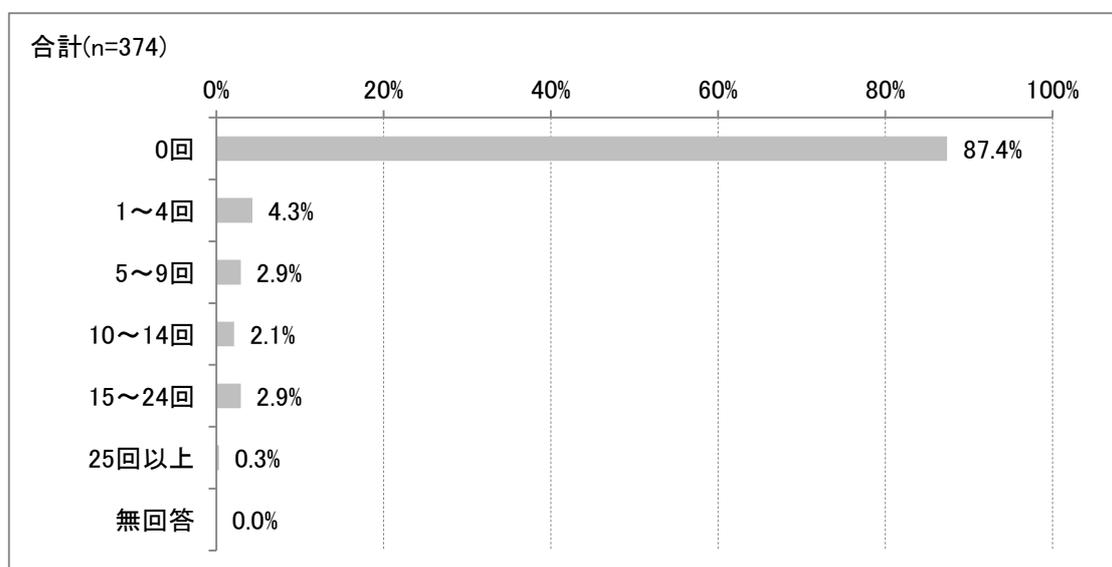
○令和4年11月の1か月あたりのサービス利用回数(訪問系)



○令和4年 11 月の1か月あたりのサービス利用回数(通所系)



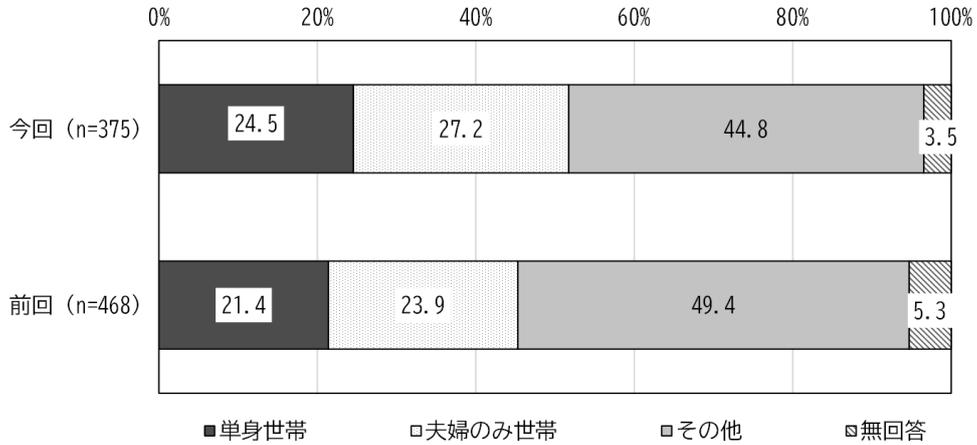
○令和4年 11 月の1か月あたりのサービス利用回数(短期系)



1. ご本人(封筒のあて名の方)の状況について

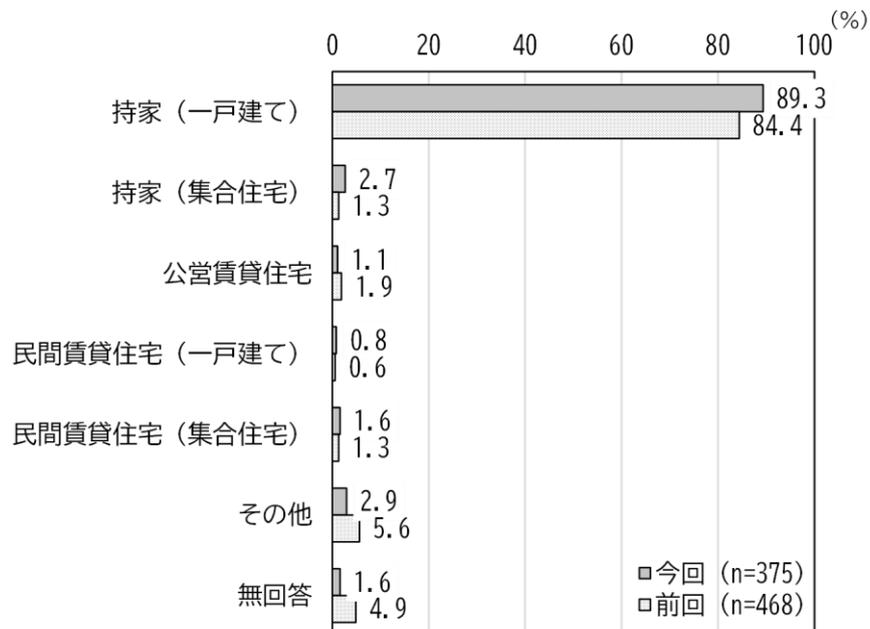
問1-1 世帯類型

【SA】



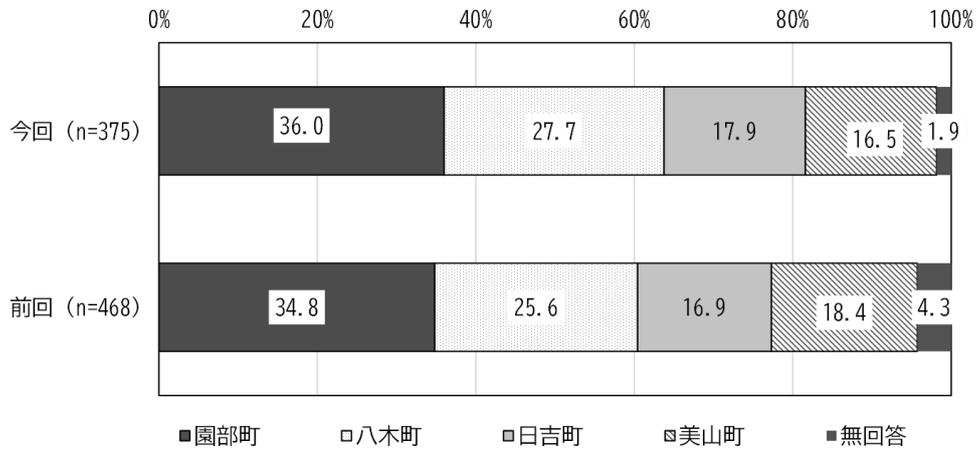
問1-2 居住形態

【SA】



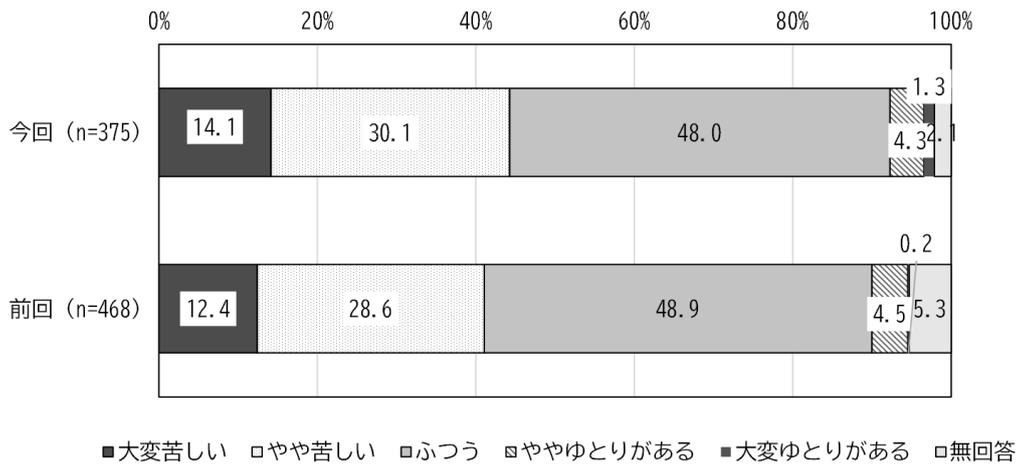
問1-3 居住地区

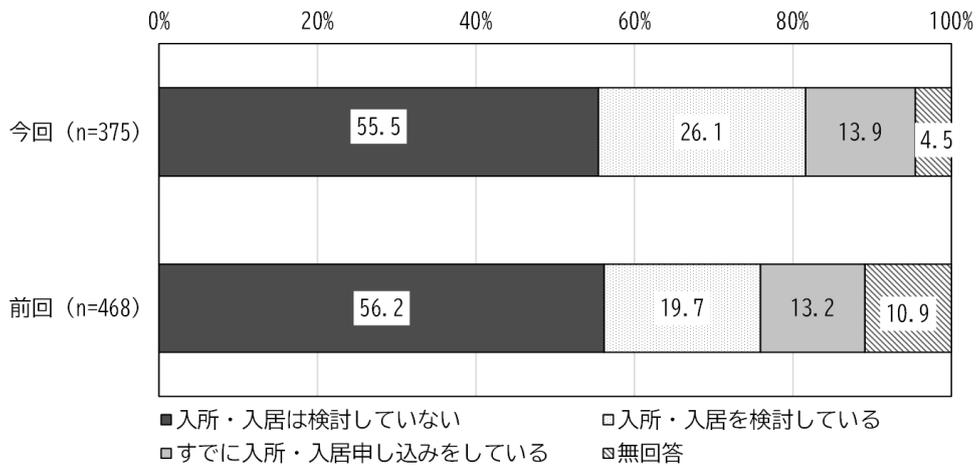
【SA】



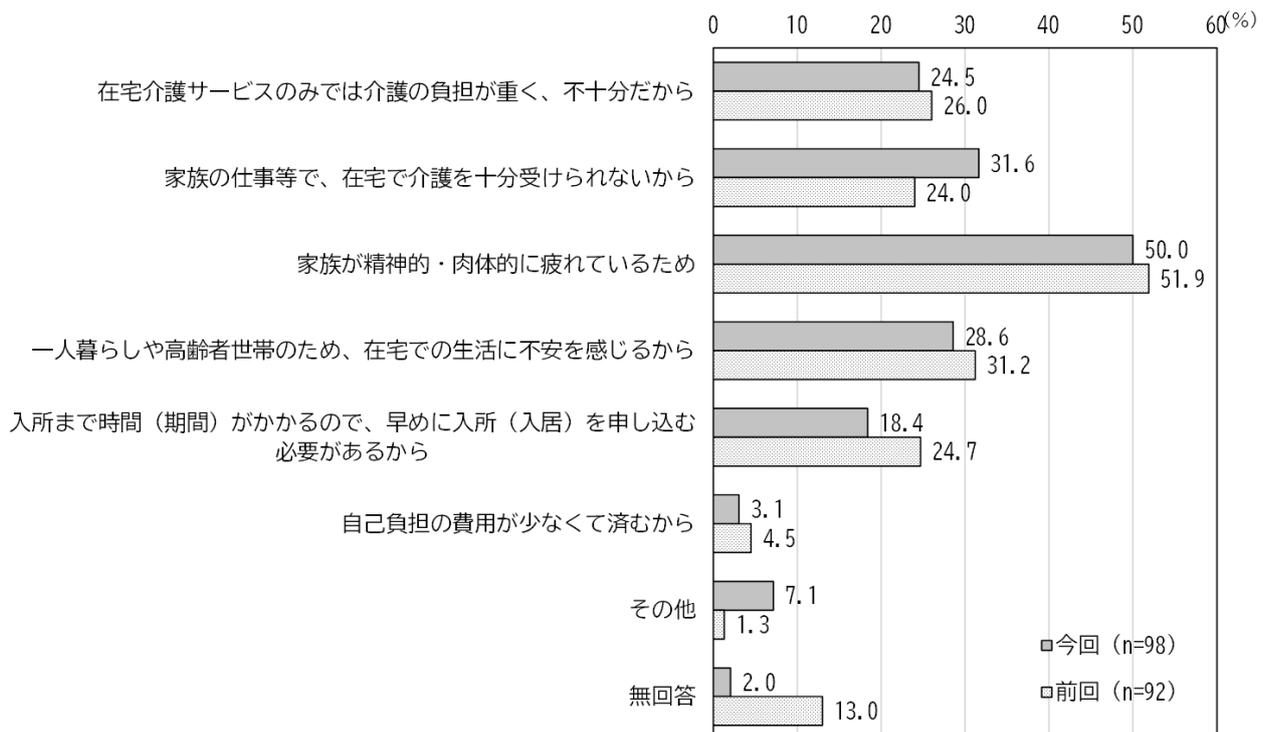
問1-4 現在の経済的な暮らし状況

【SA】





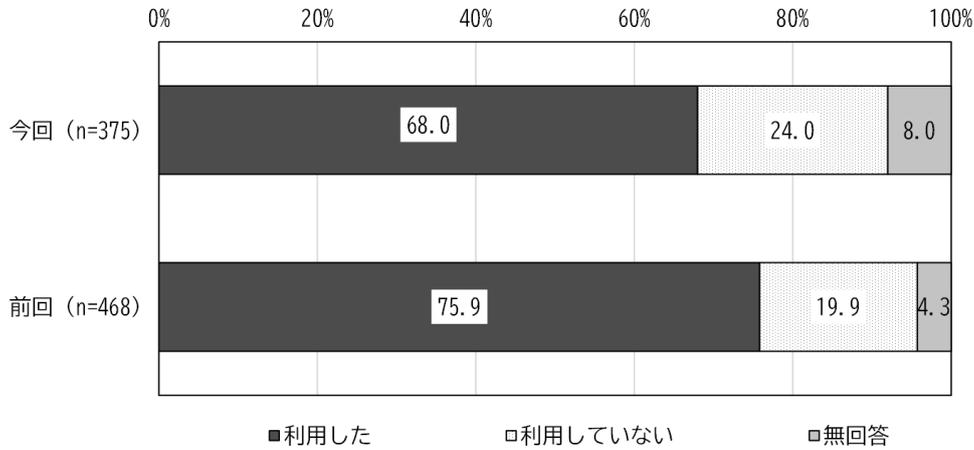
問1-5で「2. 入所・入居を検討している」と回答した人のみ



2. 介護サービスの利用状況等について

問2-1 令和4年11月の介護保険サービスの利用について

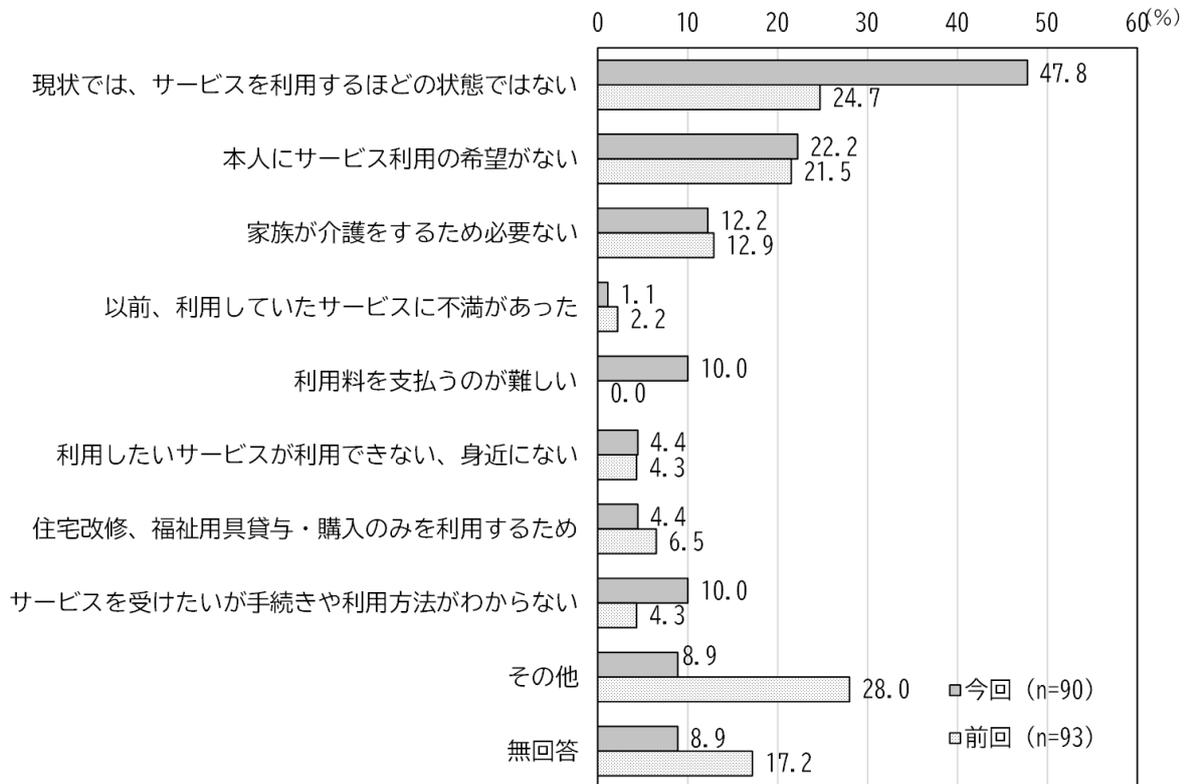
【SA】



問2-1(1) 介護保険サービスを利用していない理由

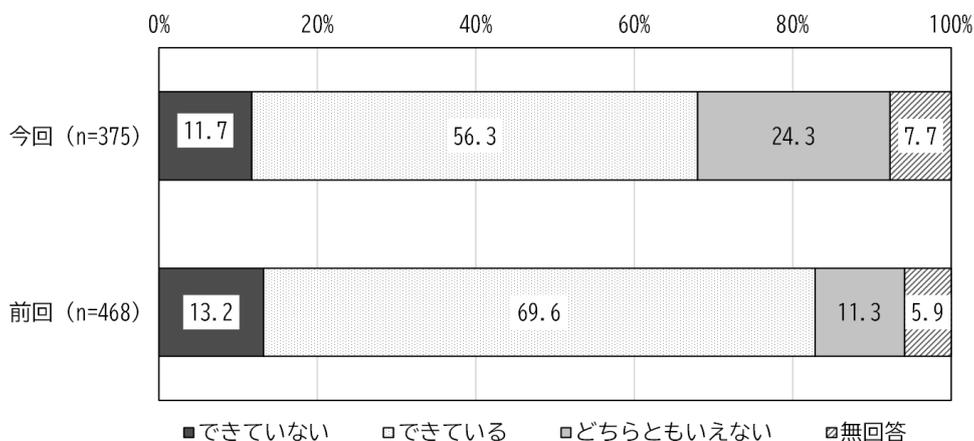
【MA】

問2-1で「2. 利用していない」と回答した人のみ



問2-2 必要だと思う介護保険サービス利用ができていないか

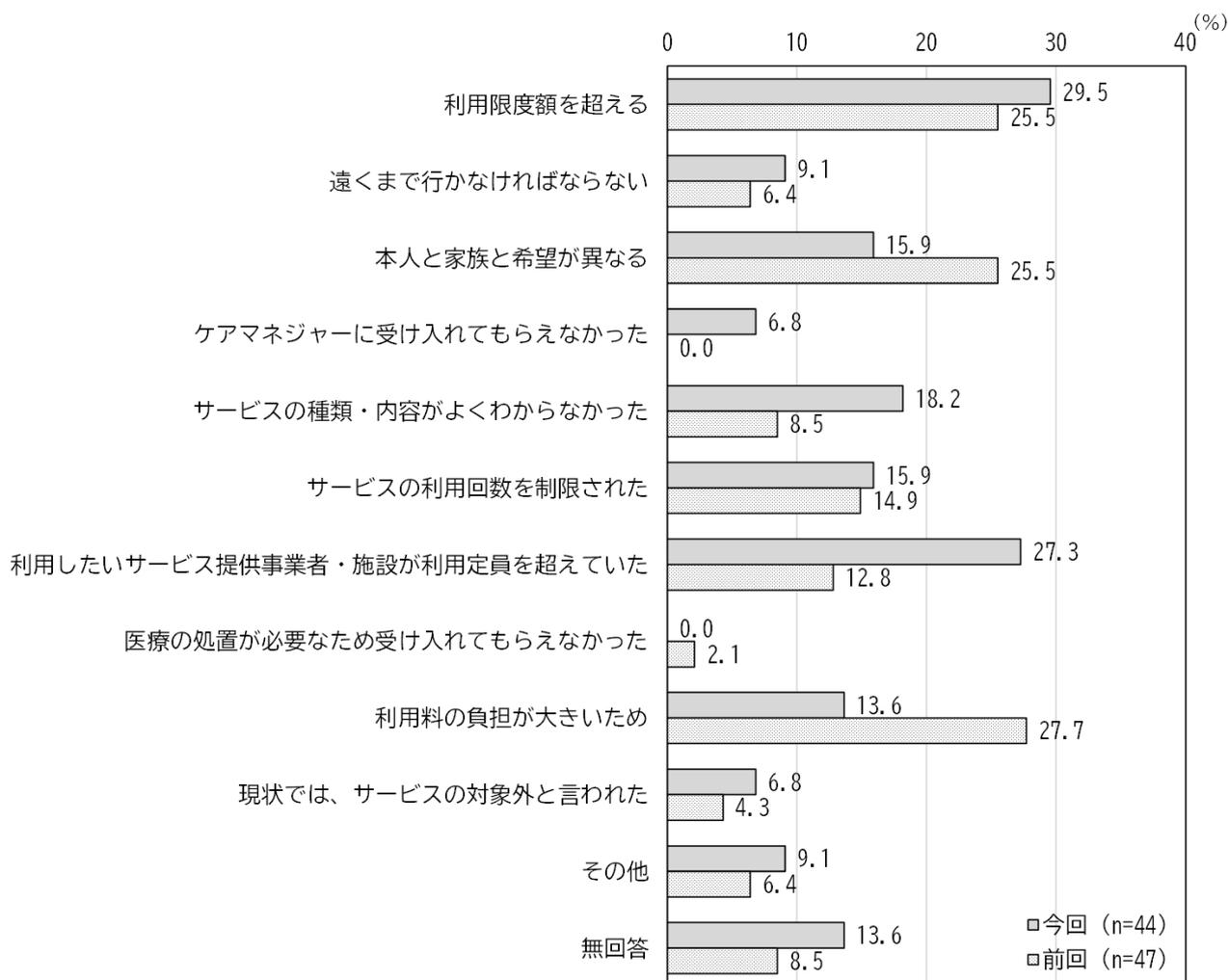
【SA】



問2-2(1) 利用することが「できていない」理由

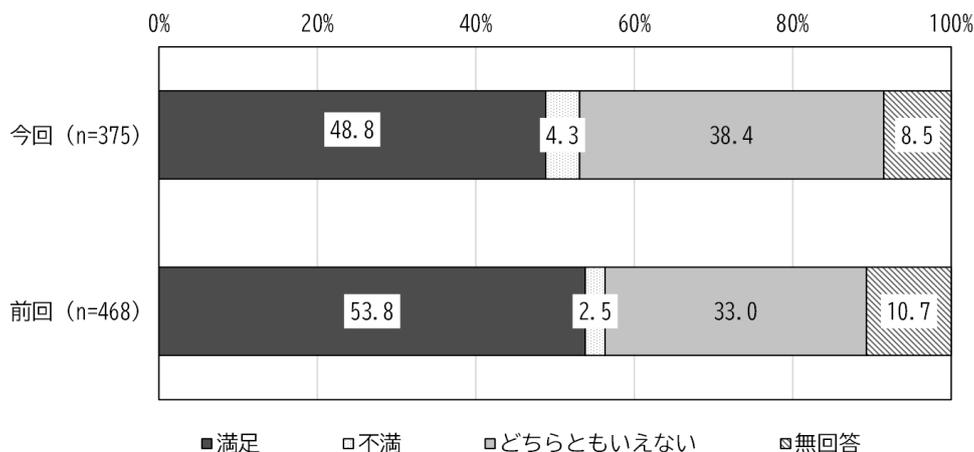
【MA】

問2-2で「1. できていない」と回答した人のみ



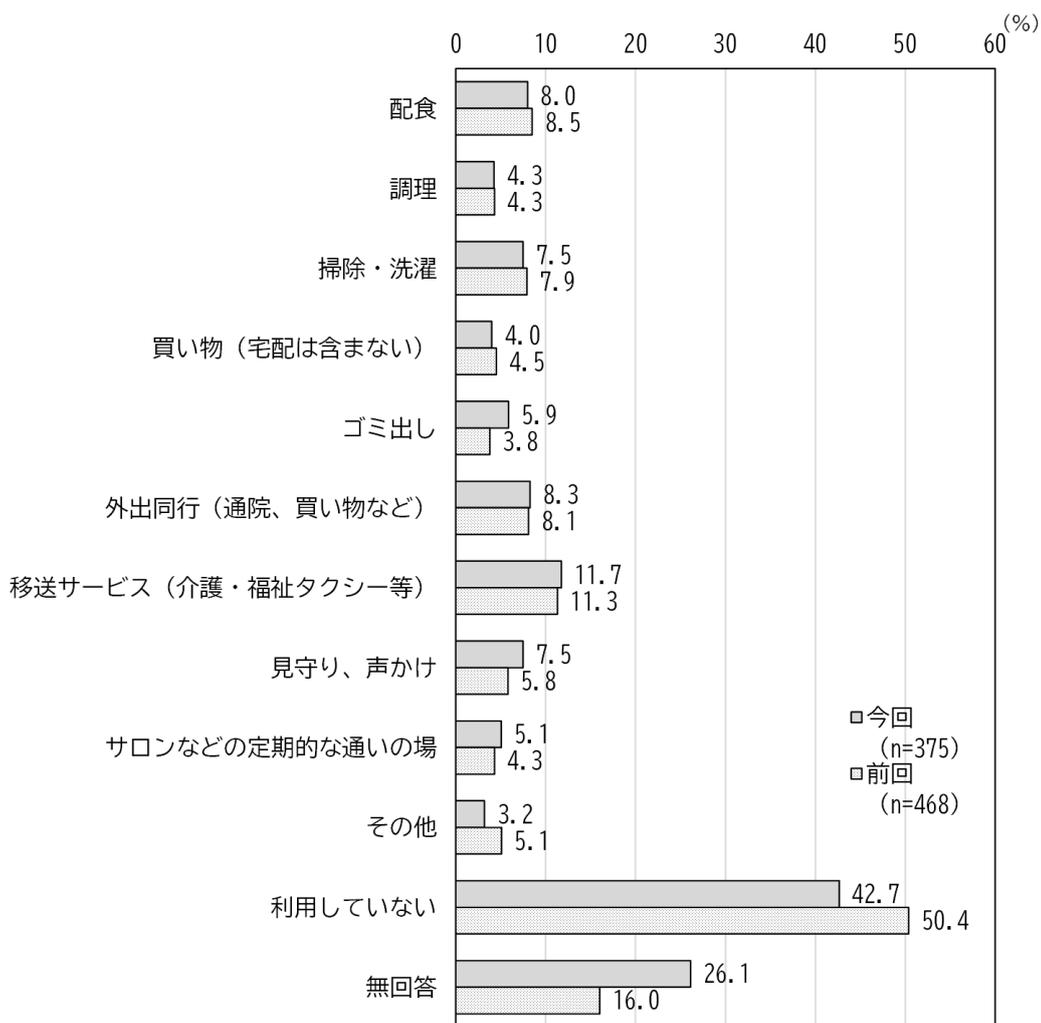
問2-3 ケアプランの満足度

【SA】



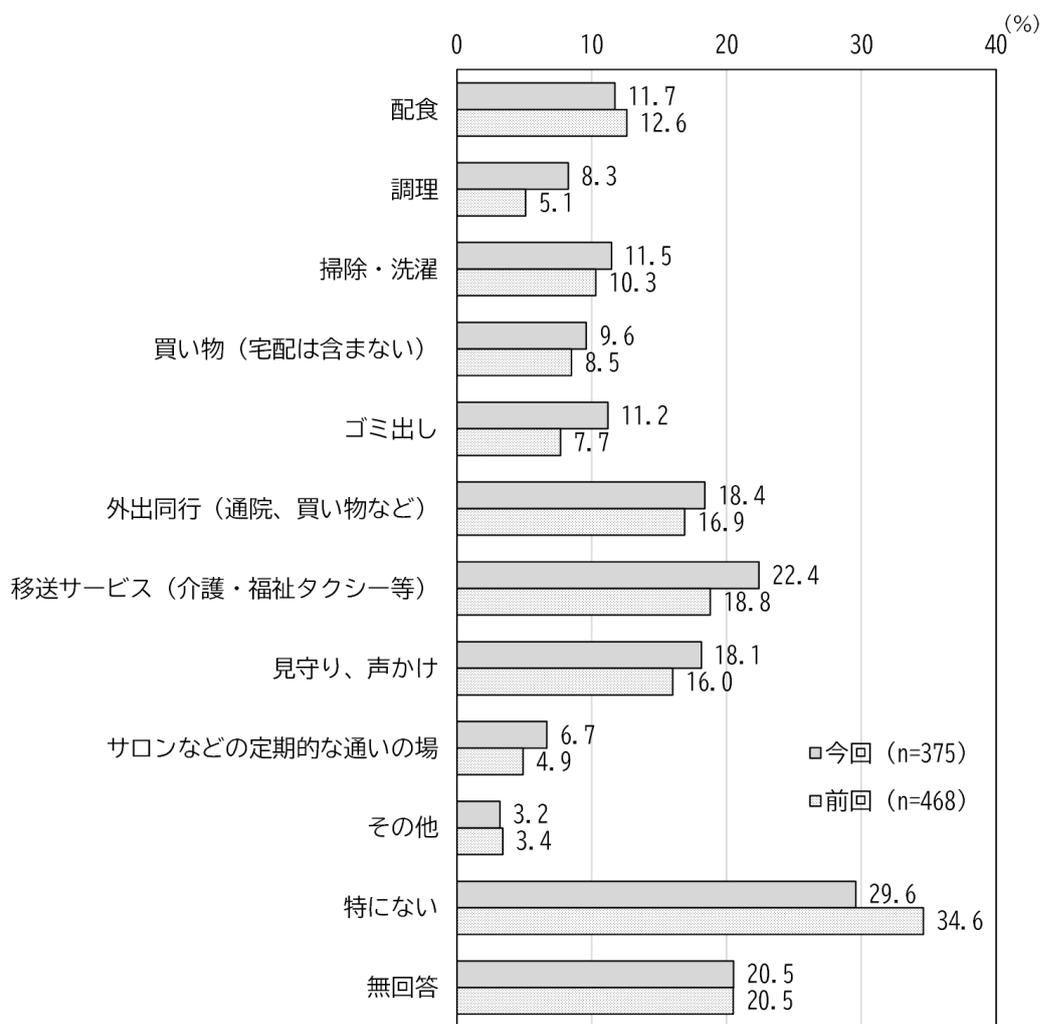
問2-4 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービス

【MA】



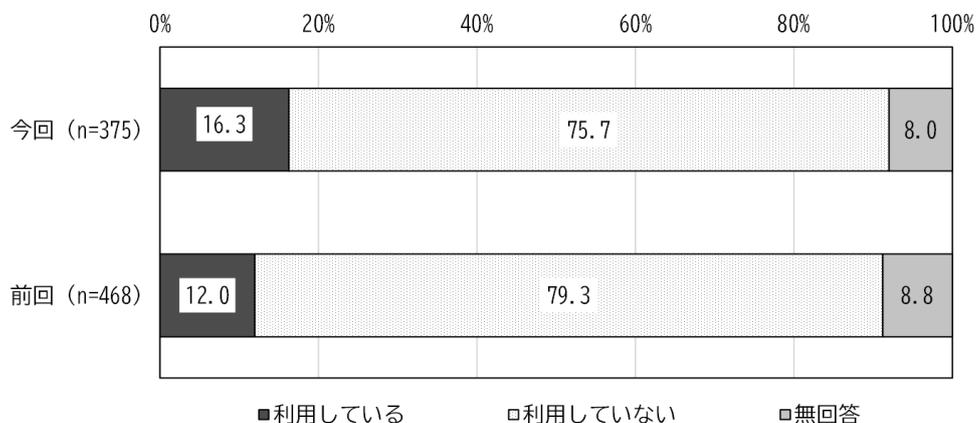
問2-5 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

【MA】



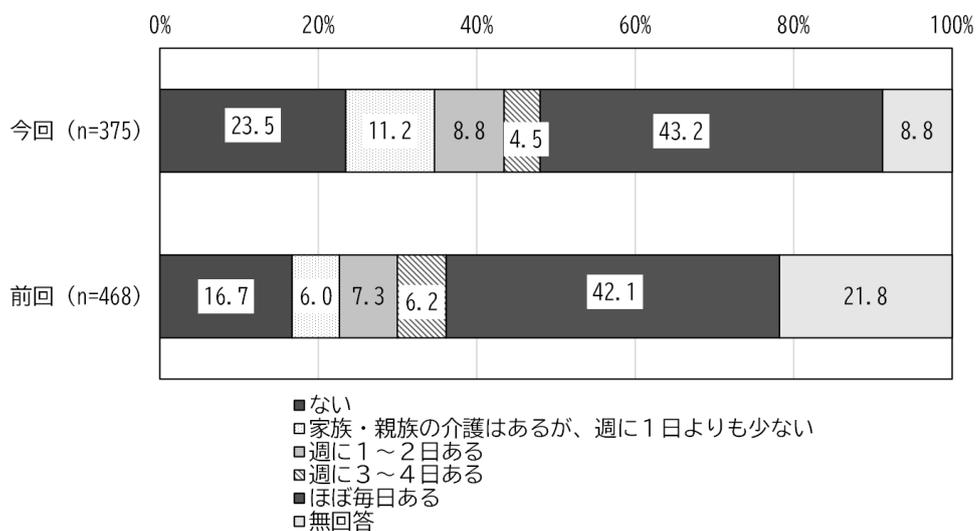
問2-6 訪問診療の利用状況

【SA】



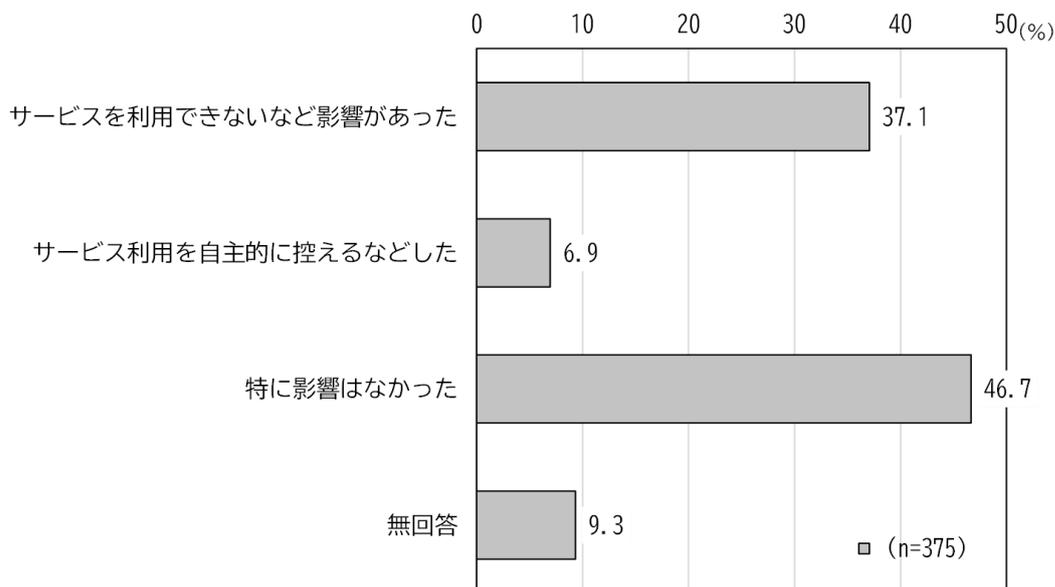
問2-7 ご家族やご親族の方からの介護頻度

【SA】

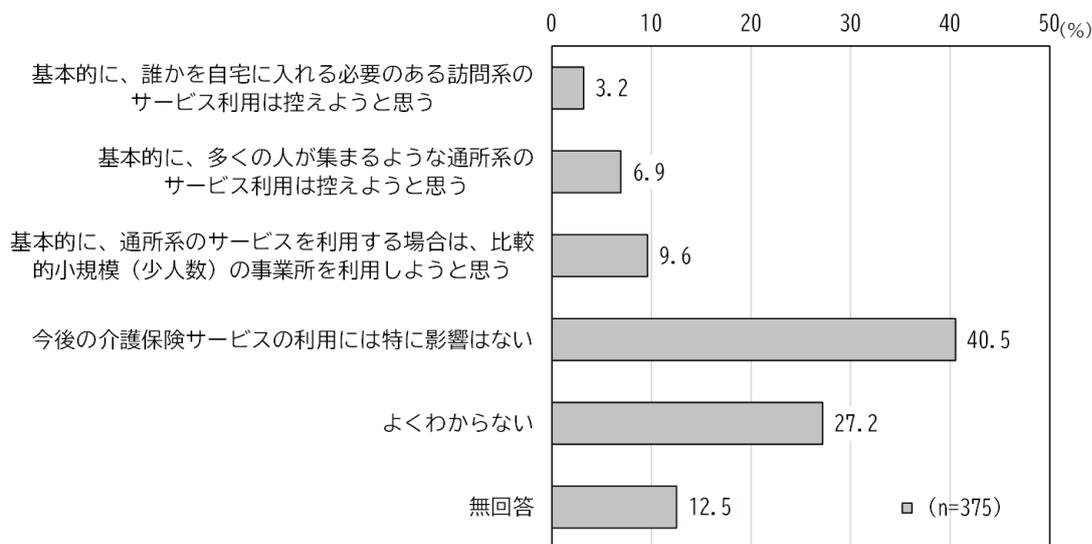


問2-8 新型コロナウイルス感染症の流行による介護保険サービス利用への影響

【SA】

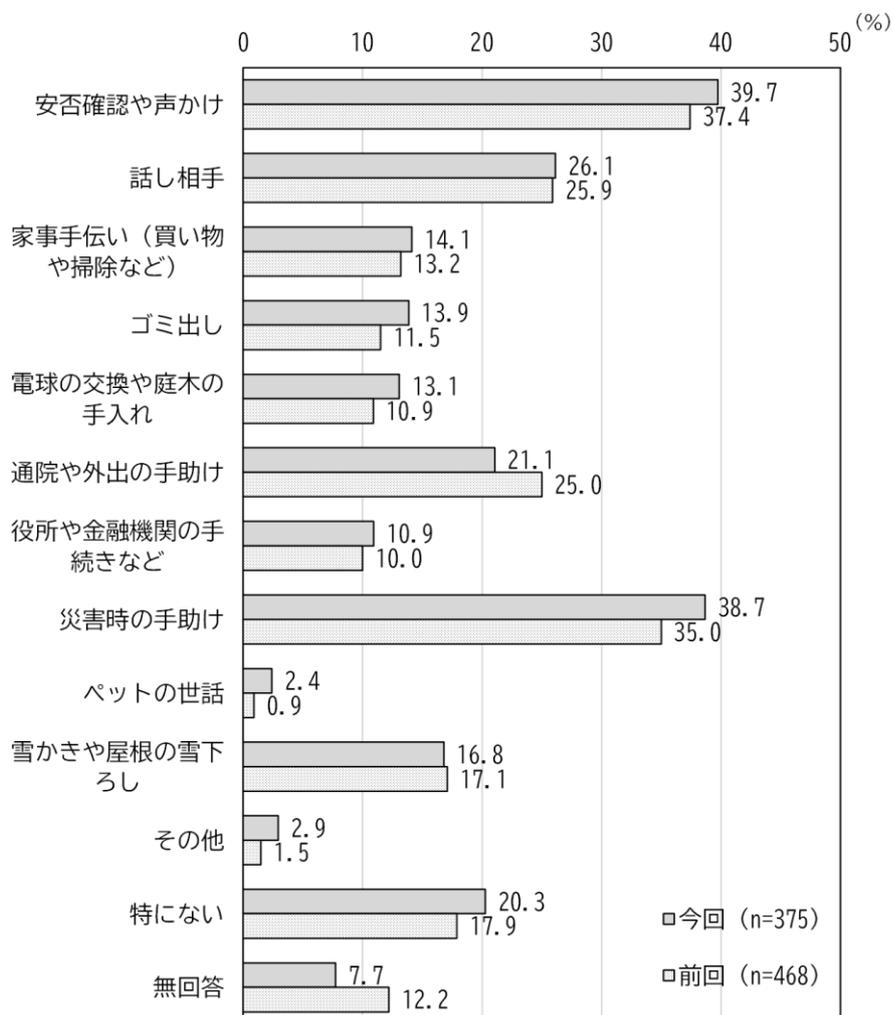


問2-9 新型コロナウイルス感染症等の経験から、今後の介護保険サービスの利用への影響 【S A】



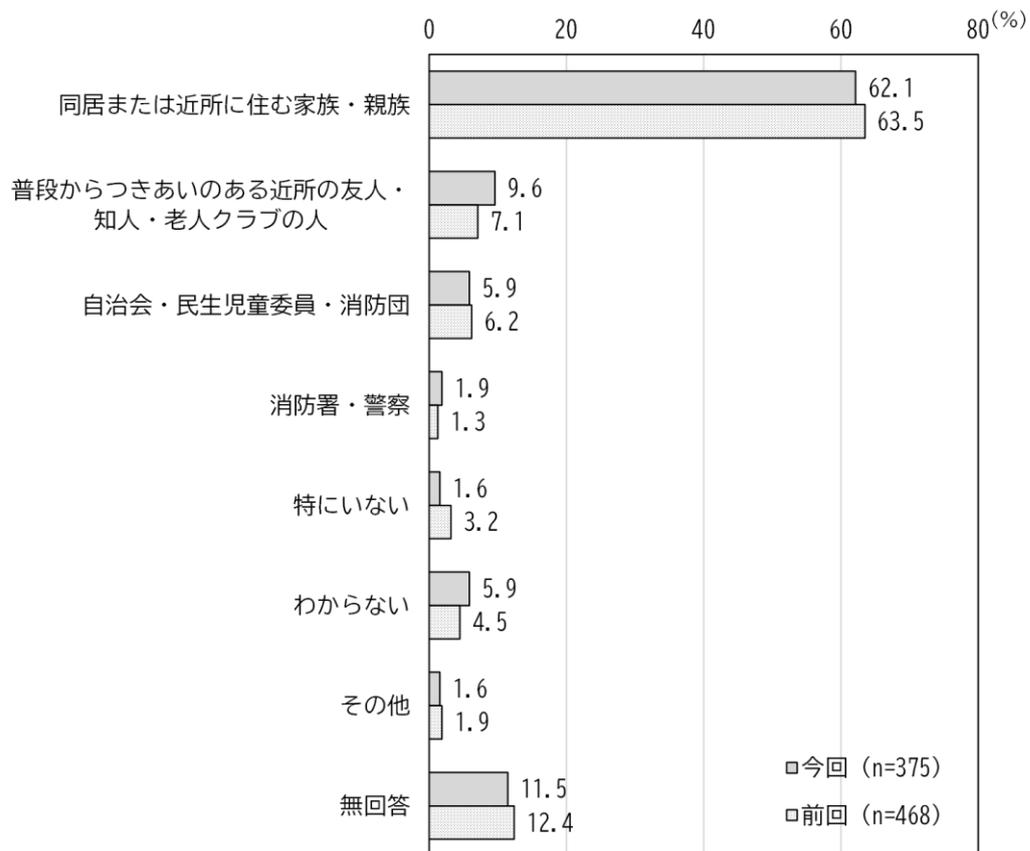
3. 地域における日常の暮らしについて

問3-1 手助けが必要となったとき、近所や地域にして欲しいこと 【MA】



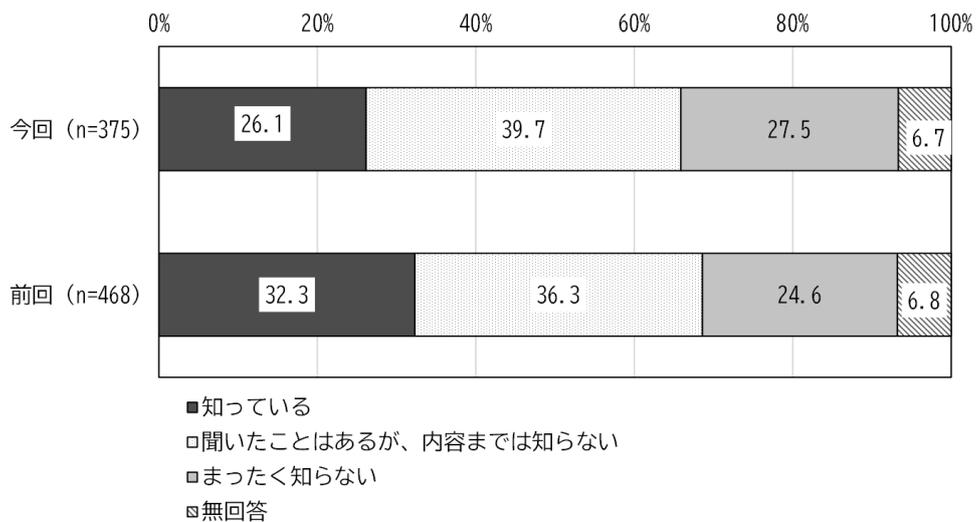
問3-2 避難等で手助けが必要となったとき、最初に手助けしてくれる人

【SA】

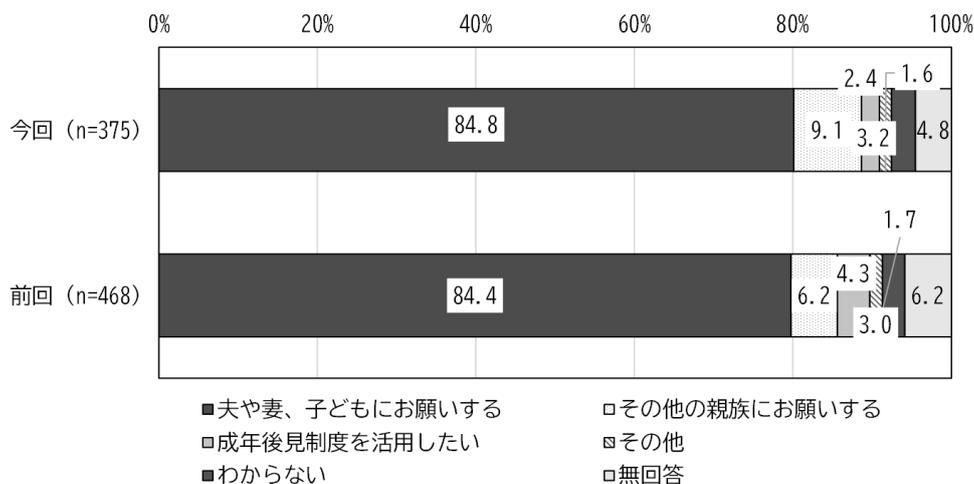


問3-3 「成年後見制度」の認知度

【SA】

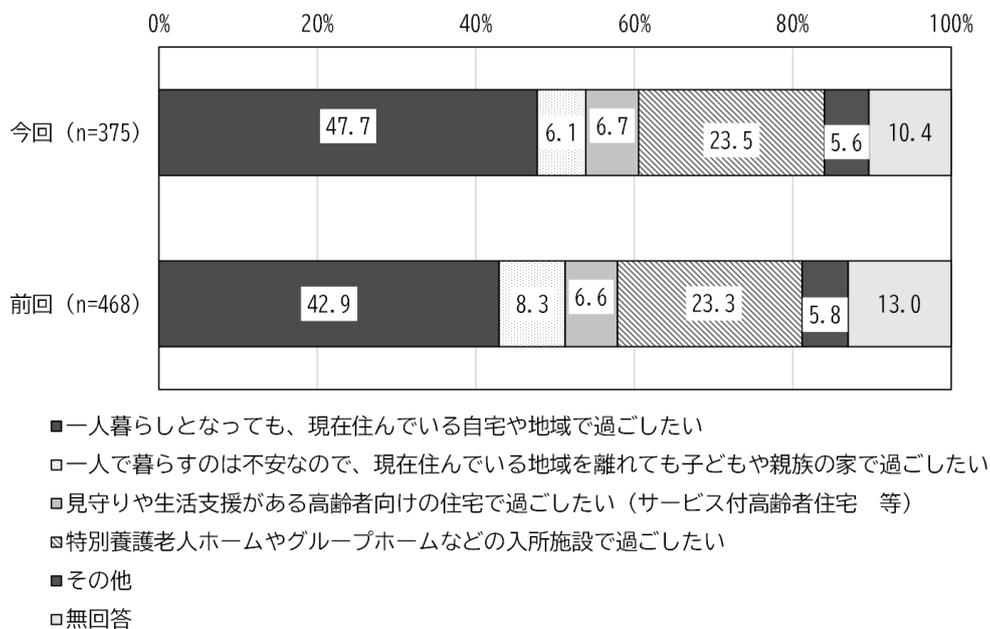


問3-4 判断能力が不十分になった際の金銭管理や様々なサービスの手続きについて【MA】



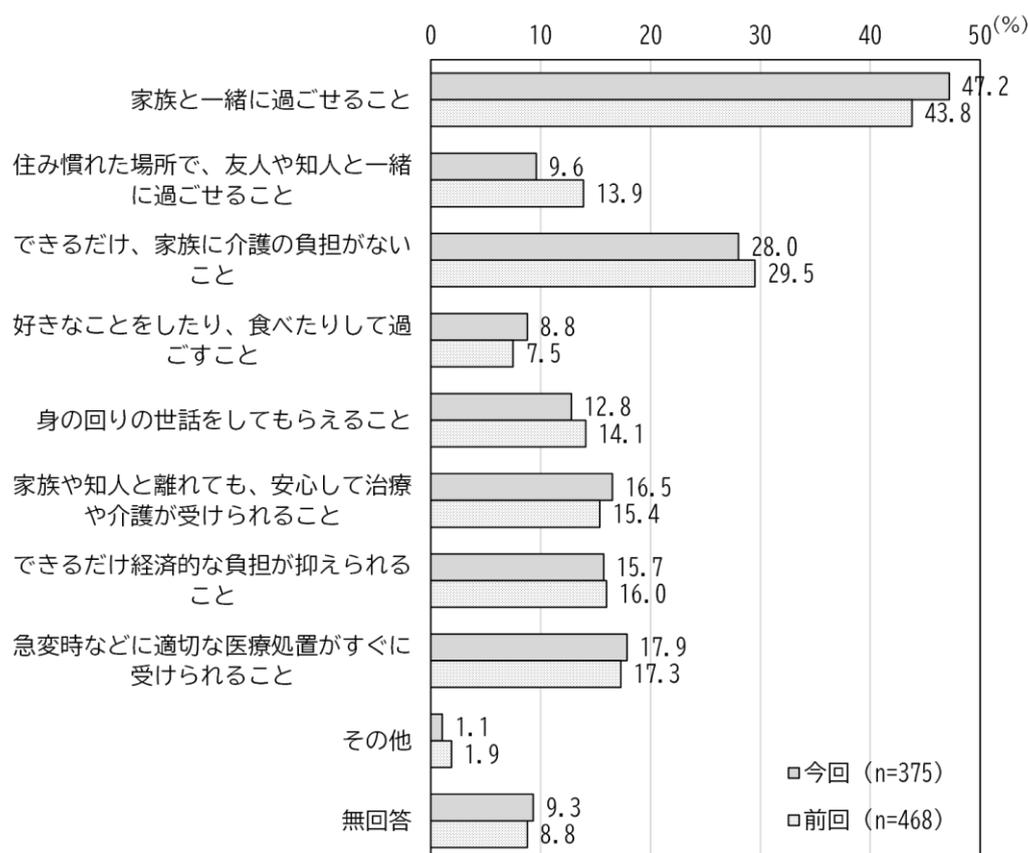
問3-5 これからの生活を送る場所

【SA】



問3-6 最期を過ごすにあたって、あなたやご家族が大切にしたいこと

【MA】

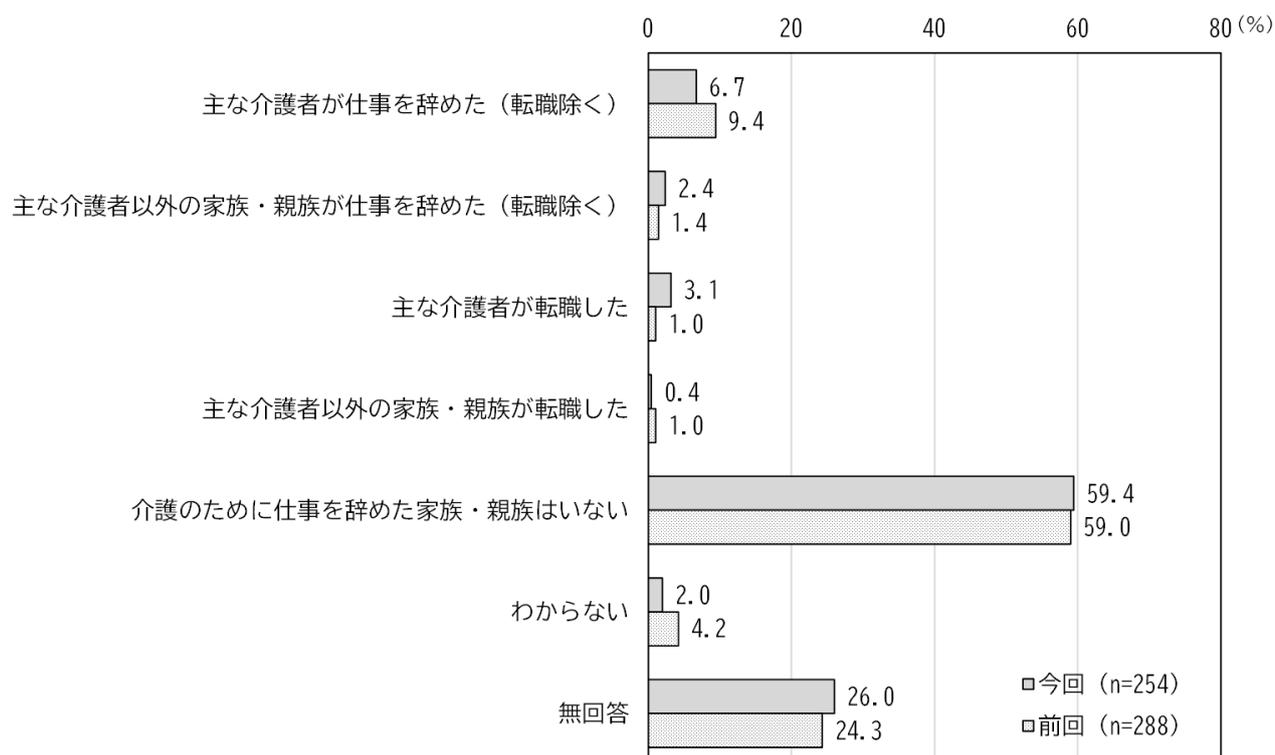


※ここからは介護をされているご家族への設問

4. ご家族やご親族による介護の状況について

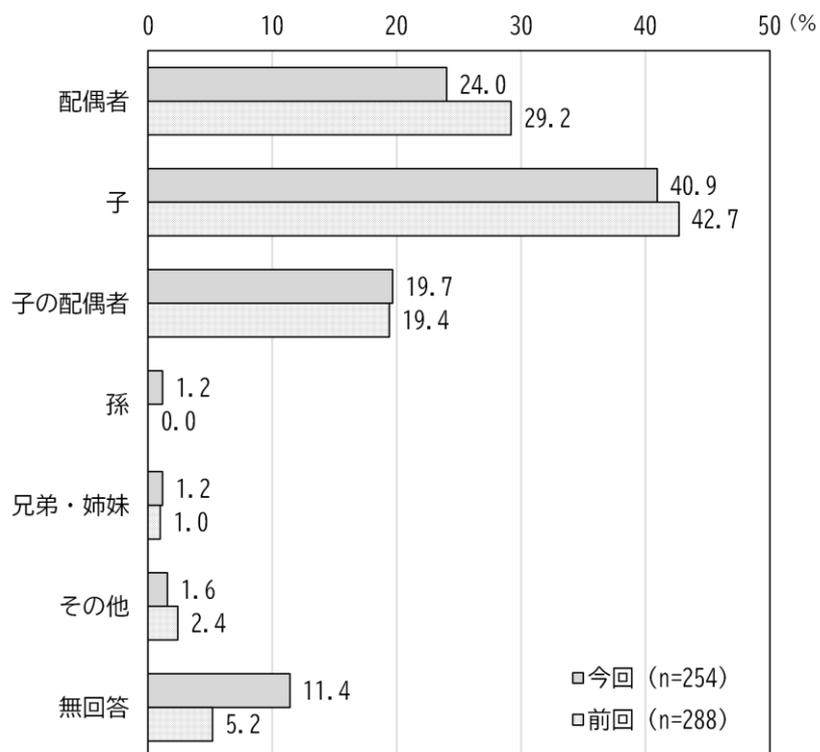
問4-1 介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方について

【MA】



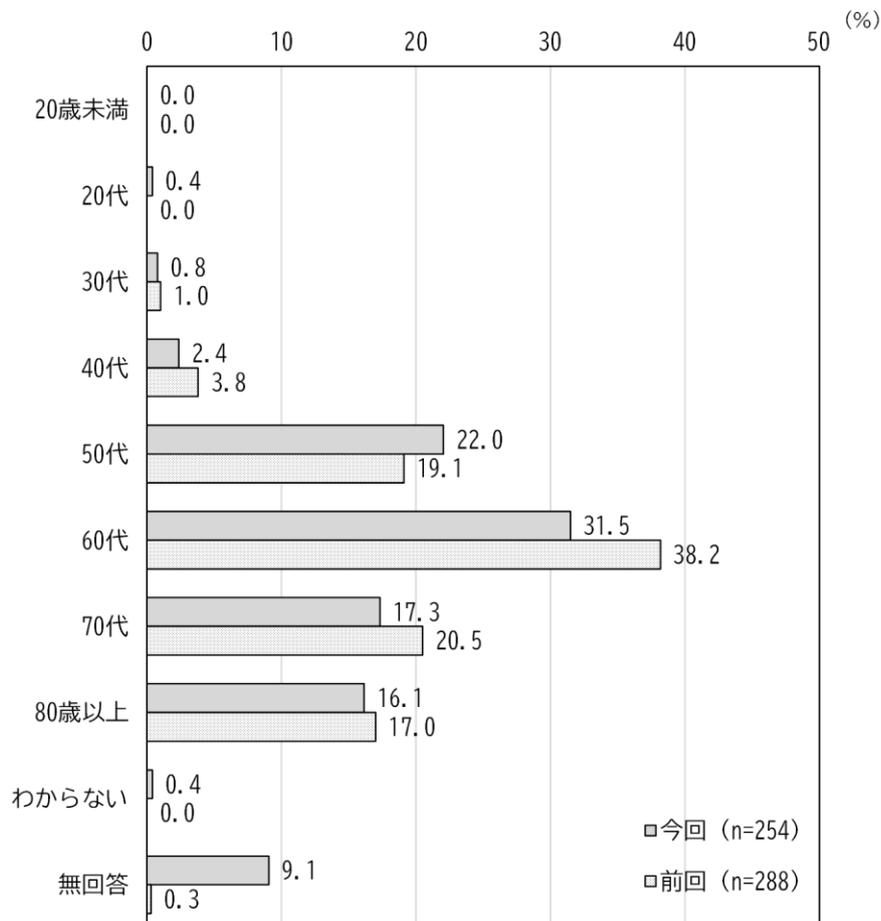
問4-2 主な介護者の方

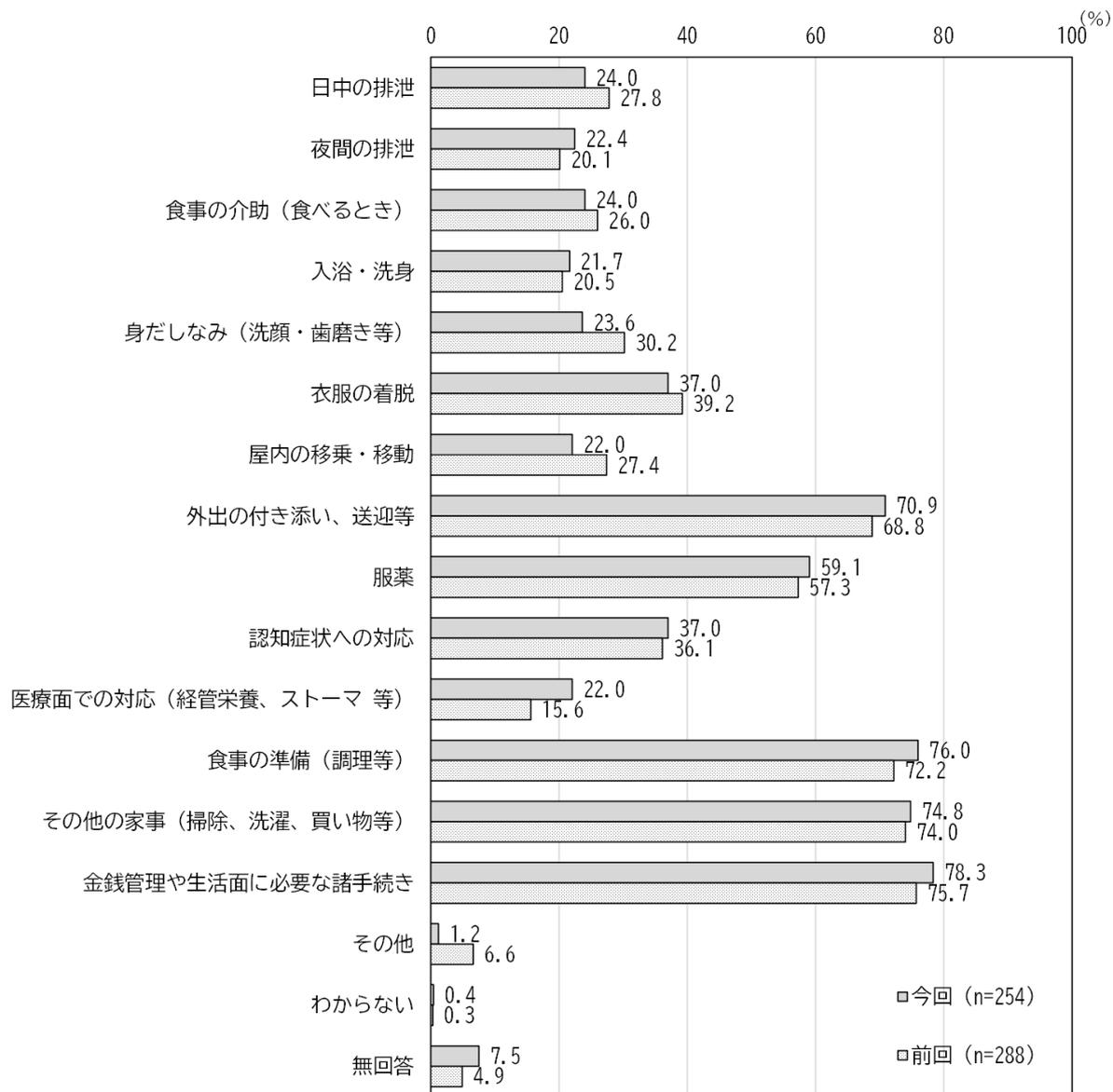
【SA】

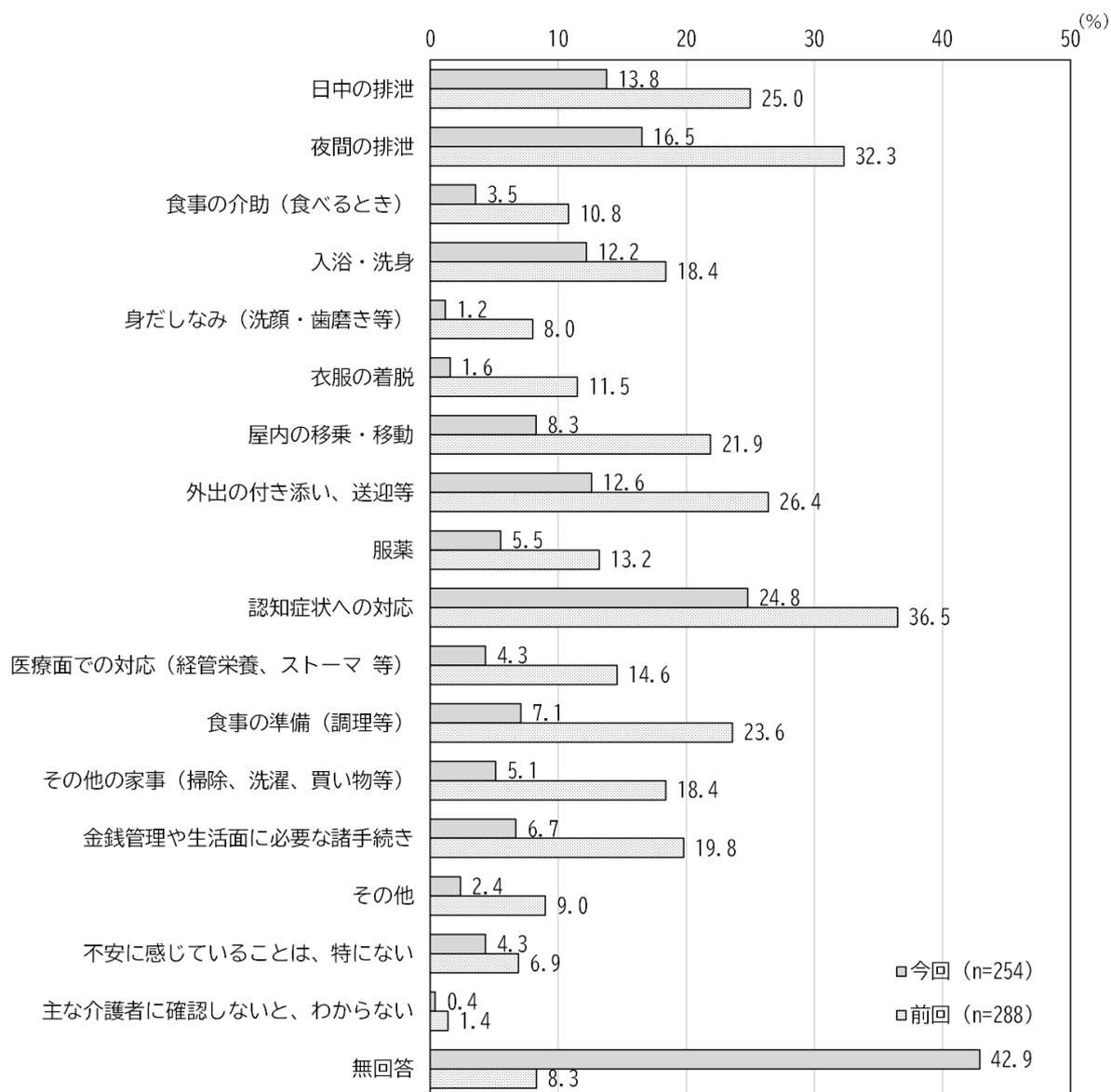


問4-3 主な介護者の年齢

【SA】

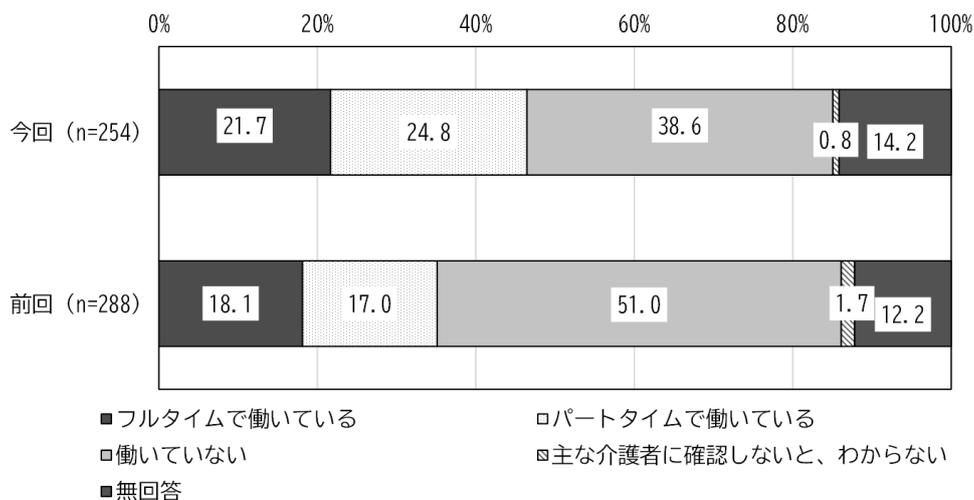






問4-6 主な介護者の方の現在の勤務形態

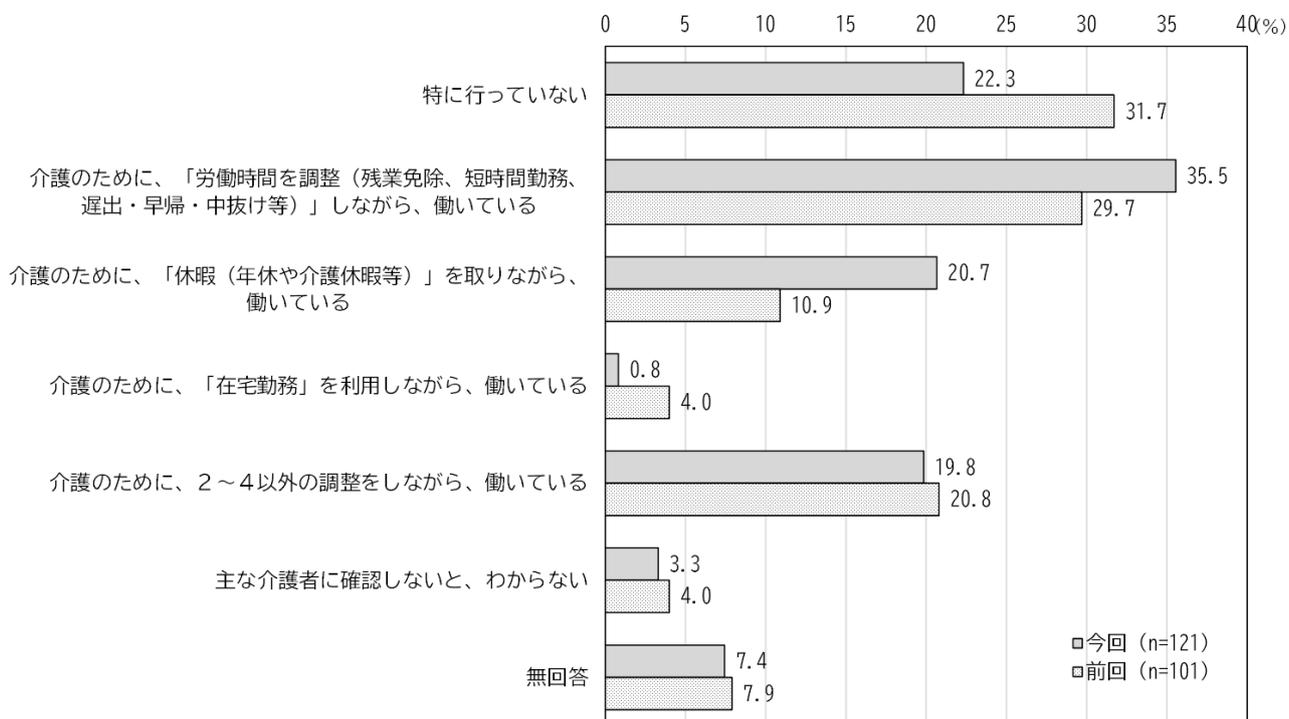
【SA】



問4-6(1) 介護者の方の働き方についての調整等

【MA】

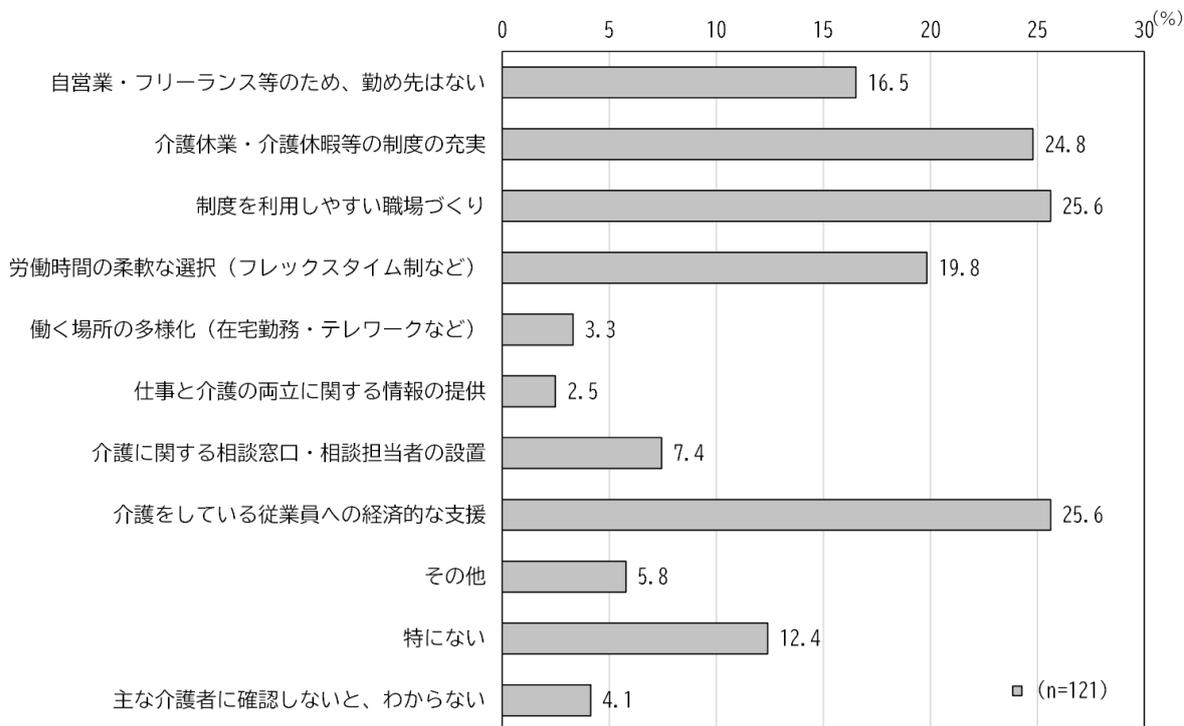
問4-6で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した人のみ



問4-6(2) 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援

【MA】

問4-6で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した人のみ



問4-6(3) 今後も働きながらの介護の継続について

【SA】

問4-6で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した人のみ

